

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H16 年度～	R6 年度	01-06-02-02-02-05
	基本事業	① 森林環境の整備	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	緊急間伐・搬出間伐推進事業	担当部署	産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀市内の森林		
	目的	森林所有者の間伐作業を推進し森林整備が適正に行われるようにする		
	根拠法令等	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法、緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金交付要綱		
	内容	<p>市内に存在する森林の適正管理を推進するため、緊急に間伐すべき森林において間伐経費と搬出経費の一部を助成しました。</p> <p>搬出間伐に対して助成することにより、間伐材の有効利用と林業の活性化を促しました。</p> <p>補助金申請者から補助対象期間の拡充するよう要望があったため、令和4年度から、事業期間を3期に分け、補助対象期間をこれまでより広げ、年間を通して林業に従事してもらえるように改善しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金(第2期) 申請件数 21件 間伐本数 5,963本(内、搬出間伐1,852本 切捨間伐4,111本) 間伐面積 15.4ha 緊急間伐対策完了検査業務委託 委託先:伊賀森林組合 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	275,000円	緊急間伐対策完了検査委託料 委託先:伊賀森林組合	
	負担金、補助及び交付金	1,757,650円	緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金(第2期)	
	計	2,032,650円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	1,673		2,100		771		1,400		美しい森林づくり基盤整備交付金
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	2,069		4,591		1,262		3,095		
	合計(A)	3,742		6,691		2,033		4,495		
事業費	正規職員	業務量	0.23 人	0.23 人	0.23 人	0.23 人	0.23 人	0.23 人		
		人件費	1,773	1,812	1,812	1,834				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
人件費		0	0	0	0					
小計(B)	1,773	1,812	1,812	1,834						
合計(A+B)	5,515	8,503	3,845	6,329						
市民1人当たりのコスト(円)	65	102	46	76						

※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	緊急間伐・搬出間伐補助間伐本数に占める搬出間伐本数の割合	間伐材の有効利用及び林業の活性化を示す	%	目標	35	35	19	21
				実績	32	17	29	31
指標化できない成果	—	達成	91.4%	48.6%	152.6%	147.6%		

方向	改善課題	林業の採算性の低下や、高齢化等による担い手の不足、所有山林に対する関心の薄れ等が原因で、林業を生業とする従事者の減少が見られます。また、間伐本数に占める搬出間伐の割合が約3割程度であり、間伐材の有効利用が十分に行われていません。
	改善案	伊賀市未来の山づくり協議会 人材育成部会において、林業従事者の増加に向けた人材育成について検討します。令和5年度から開始した伊賀市森林作業道整備事業補助金により作業道の整備を支援することにより、森林施業及び木材の集材・搬出を促進します。

整理番号
320 -

決算書頁
261

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H28 年度～ R6 年度	01-06-02-02-07
	基本事業	① 森林環境の整備	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	流域防災機能強化対策事業		評価責任者・連絡先
			産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	溪流沿い等の森林整備		
	目的	流域における防災機能を強化する為、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備を行う		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例		
	内容	<p>【環境林・特定水源地域】 伊賀市森林整備計画に定める県ゾーニングが環境林、又は三重県水源地域の保全に関する条例で、特定水源地域に指定されている森林</p> <p>上記の森林において、流域における防災機能を強化するため、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備に市町と県が連携して取り組みます。 ・間伐等(環境林・特定水源地域)38.41ha ・委託先:伊賀森林組合</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	18,348,000円	流域防災機能強化対策事業業務委託 委託先:伊賀森林組合	
	計	18,348,000円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
事業費	直接事業費	国県支出金	33,605		15,125		18,348		39,081	みえ森と緑の県民税市町交付金 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
		地方債	0		0		0		0		
		その他	0		0		0		0		
		一般財源	0		0		0		0		
		合計(A)	33,605		15,125		18,348		39,081		
	人件費	正規職員	業務量	0.15 人		0.15 人		0.15 人			0.15 人
			人件費	1,156		1,182		1,182			1,196
		再任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
			人件費	0		0		0			0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
	人件費	0		0		0		0			
	小計(B)	1,156		1,182		1,182		1,196			
	合計(A+B)	34,761		16,307		19,530		40,277			
	市民1人当たりのコスト(円)	408		194		233		480			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	間伐面積	事業において間伐を実施した面積	ha	目標	200	135	135	135
				実績	44.65	118.7	97.05	38.41
指標化できない成果	—		達成	22.3%	87.9%	71.9%	28.5%	

方向	改善課題	流域における土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の防災機能を強化する必要があります。整備必要箇所を林業事業体と連携して把握し、森林整備を推進する必要があります。
	改善案	三重県に事業実施に必要な予算を要望するとともに、林業事業体と連携し、水源かん養機能を発揮させる森林の優先度の高い森林から環境林整備を進めます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-1 観光	H18 年度～ R6 年度	01-06-02-02-03-01
	基本事業	② 観光客の受け入れ	担当部署	部・課名等
	事務事業名	ハーモニー・フォレスト維持管理経費	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市民及び市外(都市)住民		
	目的	都市と川上ダム上流域の地域資源を活用した山村の交流を促進し、地元地区の地域活性化に努める。		
	根拠法令等	青山ハーモニー・フォレストの設置及び管理に関する条例		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 青山ハーモニー・フォレストの管理に関する包括協定書及び年度協定書に基づき、施設の良い維持管理及び運営に努めました。 指定管理者は、施設利用者を増やすための自主事業を開催しました。(パークゴルフ値引きキャンペーン企画の期間延長、世界の料理教室) 令和4年度の途中からキャンプブームの落ち着いたが見られましたが、客数は微減傾向にあります。イベントの企画等で調理室の利用やバーベキューの利用は増加しています。 (オートキャンプ場利用者数) R2:2,732人 R3:3,679人(内日帰り:493人) R4:2,842人 R5:2,436人 R6:1,826人 (バーベキュー場利用者数) R2:494人 R3:443人(内日帰り:364人) R4:452人 R5:777人 R6:934人 (パークゴルフ場利用者数) R2:1,457人 R3:1,912人 R4:2,053人 R5:2,000人 R6:1,861人 学習棟循環浄化槽・水中ポンプの修繕や乗用草刈機の修繕を行いました。 		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	141,482円	修繕料:乗用草刈機修繕100,342円 学習棟 循環浄化槽水中ポンプ修繕41,140円	
	委託料	6,662,000円	ハーモニー・フォレスト指定管理料 (指定管理者:種生区)	
	計	6,803,482円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	川上ダム周辺整備事業基金繰入金 行政財産目的外使用料 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	8,549	7,373	6,803	9,220				
		一般財源	0	0	0	0				
		合計(A)	8,549	7,373	6,803	9,220				
	人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
			人件費	771	788	788	798	798	798	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費	0	0	0	0	0	0	0			
小計(B)	771	788	788	798						
合計(A+B)	9,320	8,161	7,591	10,018						
市民1人当たりのコスト(円)	110	98	91	120						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	施設年間利用者数	指定管理者が、前年度利用者数を下回らないようイベント内容の検討を行っている。	人	目標	10,000	11,600	14,000	14,500
				実績	11,550	13,804	13,532	12,247
指標化できない成果	—	達成	115%	119%	96%	84%		

方向	改善課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理に加えて地域資源を生かした魅力的な自主事業を行い、下流域の都市部などからの利用者を増加させ、地域の活性化及び地域振興を図る必要があります。 施設及び設備は使用年数の経過により、修繕を行っても、新たな修繕箇所が発生する可能性は依然として高いため、予算の確保が必要です。
	改善案	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を生かした魅力的な自主事業を行っていくため、指定管理者と連携して企画検討を行い、利用客の増加を図ります。 令和7年度予算で適切な修繕を行うとともに、指定管理者との定期的な情報交換を行います。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H16 年度～	R6 年度	01-06-02-02-04-01
	基本事業	① 森林環境の整備	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	治山林道維持経費		産業振興部農村整備課	課長 東 英昭 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	林道利用者		
	目的	林道利用者が安全に通行できるよう維持管理を行う。		
	根拠法令等	伊賀市林道維持管理規程		
	内容	<p>市が直轄管理する基幹林道総延長L=26.7kmの維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路肩除草 N=9件 A=51,054㎡ ・舗装補修 N=1件 ・路肩補修 N=1件 <p>地元管理林道関係の維持管理を行いました。</p> <p>小規模土地改良事業等補助金 工事費補助 1件 材料費補助 4件</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	修繕料	399,300円	霊山林道路路肩修繕工事(中村区) 289,300円 林道子延田代線道路舗装補修工事 110,000円	
	委託料	3,558,380円	草刈業務委託料 9件 3,154,900円 (うちシルバー1件・地元7件・業者1件) 土砂等撤去業務委託料 403,480円 <small>林道摺見妙楽地線支障木伐採及び側溝清掃業務委託 他2件</small>	
	負担金、補助及び交付金	1,218,740円	小規模土地改良事業等補助金 1,218,740円 工事費1件 材料費4件	
	計	5,176,420円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	
直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,661	4,998	5,176	5,028	5,176	5,028	5,028	5,028	
	合計(A)	4,661	4,998	5,176	5,028	5,176	5,028	5,028	5,028	
事業費 人件費	正規職員	業務量 0.21 人	人件費 1,619	業務量 0.21 人	人件費 1,654	業務量 0.21 人	人件費 1,654	業務量 0.21 人	人件費 1,675	
	再任用職員	業務量 0.00 人	人件費 0							
	会計年度任用職員	業務量 0.00 人	人件費 0							
	小計(B)	業務量 0.00 人	人件費 0							
	合計(A+B)	業務量 0.21 人	人件費 1,619	業務量 0.21 人	人件費 1,654	業務量 0.21 人	人件費 1,654	業務量 0.21 人	人件費 1,675	
市民1人当たりのコスト(円)		74	80	82	80	80	80	80	80	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。	達成	—	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	R4 年度～	R6 年度	01-06-02-02-05-01
	基本事業	① 森林環境の整備	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	森林環境保全整備事業	担当部署	産業振興部農村整備課	課長 東 英昭 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	林道の利用者		
	目的	安全で円滑な交通の確保及び第三者への被害の未然防止を図る。		
	根拠法令等	林野庁インフラ長寿命化計画(行動計画)		
	内容	<p>市が管理する林道橋梁は152橋あり、橋梁点検により、早期措置段階・緊急措置段階と判定された橋梁について、個別施設計画に基づき修繕を行う事業です。R6年度は馬別当線無名橋他30橋の橋梁点検診断及び船ヶ谷線船ヶ谷橋他3橋の修繕工事を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 船ヶ谷線船ヶ谷橋 橋脚補修工 一式 戸川線1号橋 上部工塗装工 A=29㎡ シデノ木線 3号橋 橋台補修工及び護岸補修工 一式 シデノ木線 5号橋 橋台補修工及び護岸補修工 一式 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	445,229円	消耗品費 445,229円	
	委託料	34,806,200円	橋梁点検診断業務委託料 4,618,900円 オオサンショウウオ保護調査業務委託料 594,000円 橋梁維持補修工事費 29,593,300円 <small>緊急自然災害防止対策事業船ヶ谷線船ヶ谷橋修繕工事他2件</small>	
	計	35,251,429円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	
直接事業費	国県支出金		3,832		2,559		2,309		0	農山漁村地域整備交付金 緊急自然災害防止対策事業債
	地方債		4,000		33,000		29,500		0	
	その他		0		0		0		0	
	一般財源		4,444		3,556		3,442		0	
	合計(A)		12,276		39,115		35,251		0	
事業費	正規職員	業務量	0.22 人	0.22 人	0.22 人	0.00 人	0.00 人		0	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
		人件費	1,696	1,733	1,733	0	0		0	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0	
		人件費	0	0	0	0	0		0	
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0	
		人件費	0	0	0	0	0		0	
小計(B)		1,696	1,733	1,733	0	0		0		
合計(A+B)		13,972	40,848	36,984	0	0		0		
市民1人当たりのコスト(円)			164	486	440		0		0	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	修繕工事(設計)の実施橋梁数	個別施設計画に基づき修繕工事又は設計を実施した橋梁数	橋	目標	—	4(設計・工事)	7(設計)	7(工事)
				実績	—	4(設計・工事)	7(設計)	4(工事)
指標化できない成果	—	—	達成	—	100%	100%	57.1%	

方向	完了	課題
		改善案

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-3 森林保全・林業	H16 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-02	
	基本事業	① 森林環境の整備	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	みんなの里山整備活動推進事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	地域の暮らしに身近な森林		
	目的	災害に強い森林づくりとして、地域住民による暮らしに身近な森林整備の体制づくり		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、みんなの里山整備活動推進事業補助金交付要綱		
	内容	緑の環境づくりや生活に密着した里山・竹林の再生を目的に、自治会等の地域住民が実施するボランティア活動に対して、必要経費を交付しました。 交付自治会数 34自治会(区) 補助金交付金額 7,417,002円		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	7,417,002円	みんなの里山整備活動推進事業補助金 34自治会(区)	
	計	7,417,002円		

		項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	7,516	6,200	7,417	7,350	みえ森と緑の県民税市町交付金	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	5	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	7,521	6,200	7,417	7,350		
	事業費	正規職員	業務量	0.52 人	0.52 人	0.52 人		0.52 人
			人件費	4,007	4,095	4,095		4,146
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	4,007	4,095	4,095	4,146			
	合計(A+B)	11,528	10,295	11,512	11,496			
	市民1人当たりのコスト(円)	136	123	137	137			

※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	活動参加人数		里山・森林の再生のためのボランティアに参加した人員	人	目標	1,300	1,350	1,400	1,500
					実績	1,209	965	1,230	1,237
	指標化できない成果	—		達成	80.6%	71.5%	87.9%	82.5%	

方向	改善	例年一定数の自治会に当事業を活用いただいております。地域住民の手で暮らしに身近な里山の管理が行われています。今後は、当事業をより多くの自治会にご活用いただき、地域住民の手で管理された里山を広げていく必要があります。
	改善案	例年、年度当初に各地区市民センターを通じて各自治協及び自治会に対して事業周知を行い、ホームページ等にも事業募集を掲載しています。今後は、事業を活用した地区の参考事例を紹介し、より多くの自治会などに事業申請をしていただけるよう努めます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-3 森林保全・林業	H26 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-03	
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	伊賀の森っこ育成推進事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市内の小中学生		
	目的	次世代を担う子どもたちの森林環境への理解と関心を深める		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、伊賀の森っこ育成推進事業補助金交付要綱		
	内容	<p>小学校は6年生の学級数、中学校は3年生の学級数に10万円を乗じた額を上限として、森林環境・林業等に関する学習活動・体験活動などに対して補助を行いました。</p> <p>事業活用実績 小学校 18校の内14校(78%)、中学校10校の内10校(100%)。</p> <p>24団体(73学級) 4,169,574円</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	4,169,574円	伊賀の森っこ育成推進事業補助金	
	計	4,169,574円		

		項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	3,457	3,000		4,170
地方債	0			0	0	0		
その他	0			0	0	0		
一般財源	0			0	0	0		
合計(A)	3,457			3,000	4,170	3,555		
人件費	正規職員		業務量	0.17 人	0.17 人	0.17 人	0.17 人	
			人件費	1,310	1,339	1,339	1,356	
	再任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
	会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	1,310	1,339	1,339	1,356			
	合計(A+B)	4,767	4,339	5,509	4,911			
	市民1人当たりのコスト(円)	56	52	66	59			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		補助金申請団体数	当該補助金を申請した小中学校数	団体	目標	20	23	26
					実績	14	16	19
	指標化できない成果	—	達成	70.0%	69.6%	73.1%	80%	

方向	改善	課題	小学校に比べ中学校の事業申請が少なく、小学校から中学校へ継続した森林環境教育の実施が課題です。
	改善案	当事業を活用いただいていない小中学校に対して、事業活用事例等を紹介し、事業申請を促します。	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H26 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-04
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	地域の森と緑のつながり支援事業		産業振興部農林振興課

事務事業の概要	対象	住民自治協議会等		
	目的	次世代を担う子どもたちの森林環境への理解と関心を深める		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、地域の森と緑のつながり支援事業補助金交付要綱		
	内容	1回あたり5万円を上限として世代間交流などによる森林環境・林業等に関する学習活動・体験活動などに対して補助を行いました。 申請団体 4団体(住民自治協議会) 147,558円		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	147,558円	地域の森と緑のつながり支援事業補助金	
	計	147,558円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費		
事業費	直接 事業費	国県支出金	60	150	148	150	みえ森と緑の県民税市町交付金 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。				
		地方債	0	0	0	0					
		その他	0	0	0	0					
		一般財源	0	0	0	0					
		合計(A)	60	150	148	150					
	人件費	正規職員	業務量	0.01 人	0.01 人	0.01 人					0.01 人
			人件費	78	79	79					80
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人					0.00 人
			人件費	0	0	0					0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人					0.00 人
人件費	0	0	0	0							
小計(B)	78	79	79	80							
合計(A+B)	138	229	227	230							
市民1人当たりのコスト(円)	2	3	3	3							

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	補助金申請団体数	当該補助金の申請団体数	団体	目標	8	6	6	6
				実績	0	2	2	4
指標化できない成果	—	達成	0%	33.3%	33.3%	67%		

方向	改善課題	令和6年度に実施された事業のうち、林業従事者を対象とした林業研修が3件、子どもを対象とした森林環境教育活動への事業活用が1件でした。地域の子どもたちを対象とした森林環境教育活動を増やしていただけるように、当事業の活用について各団体に周知する必要があります。
	改善案	これまで継続して実施している住民自治協議会への事業概要および補助金申請書類のメール送付やホームページ掲載による事業周知に加え、具体的な森林環境教育活動の事例紹介などを行うことで、当事業の活用を促進します。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H28 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-06
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	未利用間伐材バイオマス利用推進事業		評価責任者・連絡先
			産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	未利用間伐材搬出者		
	目的	未利用間伐材利用を促進して林地残材の減少を図り、森林所有者等による森林整備につなげる		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、未利用間伐材バイオマス利用推進事業補助金交付要綱		
	内容	<p>発電用チップに係る間伐材等由来の木質バイオマス証明材を、市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者に買い取ってもらうために必要な搬出、及び運搬に要する経費の一部を助成しました。</p> <p>間伐材等由来の木質バイオマス証明材:1トン当たり 3,000円 搬出量:803.52トン</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	2,410,560円	未利用間伐材バイオマス利用推進事業補助金	
	計	2,410,560円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人			
事業費	直接事業費	国県支出金	2,559		3,000		2,411		3,000	みえ森と緑の県民税市町交付金 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。		
		地方債	0		0		0		0			
		その他	0		0		0		0			
		一般財源	0		0		0		0			
		合計(A)	2,559		3,000		2,411		3,000			
	人件費	正規職員	業務量	0.13	人	0.13	人	0.13	人		0.13	人
			人件費	1,002		1,024		1,024			1,037	
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人		0.00	人
			人件費	0		0		0			0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人		0.00	人
人件費	0		0		0		0					
小計(B)	1,002		1,024		1,024		1,037					
合計(A+B)	3,561		4,024		3,435		4,037					
市民1人当たりのコスト(円)	42		48		41		49					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	未利用間伐材搬出量	補助対象となった未利用間伐材の搬出量	t	目標	2,000	2,500	3,000	3,000
				実績	1,828.86	934.56	852.76	803.52
指標化できない成果	—		達成	91.4%	37.4%	28.4%	26.8%	

方向	改善課題	搬出量については、令和4年度からのウッドショックにより木材価格が高騰したため、これまでバイオマス材として出荷されていたものが、木材として出荷されるようになったことの影響を受け、さらに出荷量が減少された。木材市場全体の取扱い量は増加しており、用材として出荷される木材が増加したことは望ましいことですが、今後も当事業により、間伐された後未利用となっているバイオマス材の有効利用を促進する必要があります。
	改善案	バイオマス材の出荷先である木材市場と連携し、補助金申請書類の簡素化を検討します。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H28 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-07
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	森のやすらぎ空間整備事業	産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市民が木とふれあい、やすらげる空間を創出する。		
	目的	木の薫るやすらぎの街づくりのため、伊賀市産木材を利用し街中にやすらげる空間をつくる		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内容	伊賀白鳳木育推進実行委員会が当補助金を活用して、旧上野市庁舎の改修により整備される児童図書館空間の一部(テラス部分)に設置する木製備品を、市内の間伐材等を利用して開発しました。木製備品の製作に係わる原材料費、需用費、備品購入費等について一定の範囲内で助成しました。 事業実施主体:伊賀白鳳木育推進実行委員会 事業実施箇所:旧上野市庁舎改修後の児童図書館空間の一部(テラス部分)に木製備品(ベンチ)1台設置		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	500,000円	森のやすらぎ空間整備事業補助金	
	計	500,000円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
事業費	直接事業費	国県支出金	200		500		500		500	みえ森と緑の県民税市町交付金 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
		地方債	0		0		0		0		
		その他	0		0		0		0		
		一般財源	0		0		0		0		
		合計(A)	200		500		500		500		
	人件費	正規職員	業務量	0.05 人		0.05 人		0.05 人			0.05 人
			人件費	386		394		394			399
		再任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
			人件費	0		0		0			0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
	人件費	0		0		0		0			
	小計(B)	386		394		394		399			
	合計(A+B)	586		894		894		899			
	市民1人当たりのコスト(円)	7		11		11		11			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	整備箇所数	森のやすらぎ空間を整備した箇所数	箇所	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	0	0
指標化できない成果	—	達成	100%	100%	0%	0%		

方向	改善	課題	事業内容について市民へ十分な周知が出来ていないこと。事業完了時のみではなく、事業の進捗状況に応じて効果的な広報が必要です。 事業を継続して実施していく必要があります。
	改善案	事業完了後だけでなく、事業実施中にも報道・HP等により事業主体である伊賀白鳳木育推進実行委員会の取組や、伊賀市産木材の利活用について周知・啓発を行う必要があります。また年度により、事業者からの補助事業の申請が無い場合があるため、継続した事業実施に向けて、高校が組織する実行委員会と連携して事業進捗を図る必要があります。	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-3 森林保全・林業	R4 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-10	
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	木づかい木育推進事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀市内出生児及び市内小学5年生		
	目的	出生児とその親や、小学生に木のぬくもりに触れる機会をあたえることで、「木育」のきっかけを作る		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例		
	内容	<p>健やかな子どもの成長と木材利用の推進を図るため、「木育」のきっかけとして地域産材のフォトフレーム、伊賀産ヒノキの手作り箸キットをプレゼントしました。</p> <p>出生届提出時(地域産材のフォトフレーム) 250個 小学5年生(伊賀産ヒノキの手作り箸キット) 650個</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費 消耗品費	1,978,034円	木製フォトフレーム 250個 687,500円 伊賀産ヒノキの手作り箸キット 650個 1,287,000円 封筒 3,534円	
	役務費 通信運搬費	900円	切手(郵送用レターバック不足分)@60×15枚	
	計	1,978,934円		

		項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	2,706	3,017		1,979
地方債	0			0	0	0		
その他	0			0	0	0		
一般財源	0			0	0	0		
合計(A)	2,706			3,017	1,979	3,086		
事業費	正規職員		業務量	0.12 人	0.12 人	0.12 人	0.12 人	
			人件費	925	945	945	957	
	再任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
	会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	925	945	945	957			
	合計(A+B)	3,631	3,962	2,924	4,043			
	市民1人当たりのコスト(円)	43	48	35	49			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	木育の認識		アンケートで「木育を知っていた」を選択した割合	%	目標	25	26	26	26
					実績	20	15.6	12.1	5.3
	指標化できない成果	—		達成	80%	60%	47%	20%	

方向	改善	<p>課題 配布した木製品が、着実に木育の推進に繋がっているのかを検証する必要があります。また、木育の認知度が下がっている傾向があります。</p>
	改善案	<p>木製品の配布に併せた木育の啓発を行って行く必要があります。フォトフレーム及び手続き箸キットの配布時に依頼しているアンケート調査の結果を用いて、より事業効果を発揮できるよう改善します。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	3-3 森林保全・林業	R元	年度～ R6 年度	01-06-02-02-07-01
	基本事業	① 森林環境の整備	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	森林環境譲与税事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀市内の森林			
	目的	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進を行う			
	根拠法令等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律			
	内容	<p>令和元年度から譲与されている森林環境譲与税は、山村地域のこれまで手入れが十分に行われてこなかった森林の整備の進展等を目的とされ創設されました。</p> <p>令和6年度は、令和5年度と同様に未整備協定林の整備事業及び境界明確化事業を実施したことに加えて、伊賀市の山の管理を計画的に進めるため、行政及び林業事業者等(川上・川中・川下)により令和2年7月に立ち上げた伊賀市未来の山づくり協議会において4部会における部会事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未整備協定林整備調査業務委託 306.87ha (委託先:伊賀森林組合) ・森林経営管理意向調査業務委託 1760.93ha (委託先:伊賀森林組合) ・未整備協定林整備業務委託 53.18ha (委託先:伊賀森林組合) ・伊賀市未来の山づくり協議会負担金 2,259,000円 ・伊賀産材ブランド化事業補助金 2005.251㎡ ・緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金 間伐本数 第1期1,526本(6.63ha) 第3期2,367本(10.04ha) ・森林境界明確化事業補助金 279.79ha ・伊賀市森林作業道整備事業補助金 作設14,108.5m 改修1,461m ・伊賀市テナント・店舗等木質化モデル創出事業補助金 1件 			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	需要費	75,000円	消耗品費		
	委託料	44,638,000円	未整備協定林整備調査・森林経営管理意向調査		
	負担金、補助及び交付金	32,537,031円	未整備協定林整備 伊賀市未来の山づくり協議会負担金・林業技術普及協会負担金		
	積立金	14,867,559円	産材ブランド化事業補助金 緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金 森林境界明確化事業補助金 伊賀市森林作業道整備事業補助金 伊賀テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金		
	計	92,117,590円	森林環境譲与税基金積立金		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 森林環境譲与税基金利子	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	75	77	114	3,020		
		一般財源	71,619	87,054	92,004	97,160		
	合計(A)	71,694	87,131	92,118	100,180			
	事業費	正規職員	業務量	0.72 人	0.72 人	0.72 人		0.72 人
			人件費	5,548	5,670	5,670		5,741
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	1.00 人	1.00 人		
	人件費	0	0	1,776	2,161			
小計(B)	5,548	5,670	7,446	7,902				
合計(A+B)	77,242	92,801	99,564	108,082				
市民1人当たりのコスト(円)	906	1,104	1,185	1,286				

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	環境林整備面積	間伐により環境林整備を行った面積	ha	目標	68	180	200	200
				実績	66.48	159.13	101.38	69.85
指標化できない成果	—		達成	97.8%	88.4%	50.7%	34.9%	

方向	改善	<p>課題</p> <p>森林環境税の徴収が令和6年度から開始されるため、今後森林環境譲与税事業への関心が高まることが予想され、森林環境譲与税事業の事業実績及び効果について市民に周知していく必要があります。</p>
	改善案	<p>事業内容の精査を行い、効果を発揮できるよう事業を推進します。ホームページ等で森林環境譲与税事業実績の周知及び森林環境整備の必要性について啓発を行います。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-01-01	
	基本事業	① 商工業の活性化	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	商工振興経費		産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	関係団体および事業者		
	目的	伊賀市内の商工業の振興・発展のため、関係団体や事業者に対して支援を行う。		
	根拠法令等	中小企業基本法、中小企業振興事業資金利子補給補助金実施要領、小規模事業資金融資制度保証料補助金実施要領など		
	内容	<p>【商工振興係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上野商工会議所及び伊賀市商工会等に対して、商工業者の育成と発展を図ることを目的に、これらが実施する事業に対し財政支援を行いました。 ・地域循環経済の構築、地域経済の健全な発展、産業基盤の安定・強化を図るため令和4年9月に制定した「伊賀市産業振興条例」の規定に基づき、関係者による「産業振興懇談会」を開催し、情報共有、意見交換等を行いました。 <p>《負担金、補助及び交付金》 商工会議所調査広報事業費補助金、商工会事業費補助金、地域振興活性化事業費補助金、道の駅連絡会負担金</p> <p>【企業支援係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の維持発展を図るため、市内で起業する者や事業改善を行う者に対し、その経費の一部を補助しました。(19件) ・日本政策金融公庫による経営改善貸付制度の設備資金利用者に対する利子補給補助や、小規模事業資金制度の利用者に対し、三重県信用保証協会への支払保証料に対する補助を行いました。 <p>《負担金、補助及び交付金》 中小企業相談業務負担金、三重県産業支援センター負担金、三重県計量協会負担金、日本貿易振興会三重県情報センター事業運営負担金、中小企業振興事業貸付利子補給補助金、小規模事業資金融資制度保証料補助金、地域総合整備資金貸付連帯保証料補助金、起業・経営革新事業補助金、三重TLO特別会員負担金</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	107,011円	消耗品費、印刷製本費 107,011円	
	役務費	5,952円	通信運搬費 5,952円	
	委託料	150,000円	商業後継者育成事業委託料(上野商工会議所) 150,000円	
	負担金、補助及び交付金	59,244,587円	中小企業相談業務負担金(上野商工会議所) 4,000,000円 小規模事業資金融資制度保証料補助金 2,043,262円 商工会事業費補助金(伊賀市商工会) 23,850,000円 起業・経営革新促進事業補助金 22,816,000円 地域総合整備資金貸付連帯保証料補助金 3,185,133円 その他負担金、補助及び交付金 3,350,192円	
	貸付金	141,000,000円	地域総合整備資金貸付金(榊中外医薬生産) 141,000,000円	
	計	200,507,550円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【令和6年度決算特定財源】 デジタル田園都市国家構想交付金、ふるさと応援寄附金、土地建物貸付料収入(伊賀市商工会青山支所)	
		国県支出金	3,000	3,750	3,750	4,666		
		地方債	0	141,000	0	0		
		その他	15,500	26,250	19,233	25,556		
		一般財源	37,378	40,366	177,525	40,726		
	合計(A)	55,878	211,366	200,508	70,948			
	事業費	正規職員	業務量	0.60 人	0.60 人	0.90 人		0.90 人
			人件費	4,623	4,725	7,087		7,176
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)	4,623	4,725	7,087	7,176				
合計(A+B)	60,501	216,091	207,595	78,124				
市民1人当たりのコスト(円)	709	2,571	2,470	930				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	商工会議所・商工会会員数	商工会議所・商工会会員数	企業	目標	1,934	2,041	2,041
				実績	2,041	2,049	2,021
指標化できない成果	—	達成	105.5%	100.4%	99.0%	97.5%	

方向	改善	地域の商業を支える商工団体への支援を行っているが、後継者不足、コロナ禍、物価高騰等の社会情勢の影響もあり会員数は減少傾向にあります。 地域循環型の経済を目指し、産業振興条例の理念の浸透、条例に基づく取り組みの展開を図っていく必要があります。
	改善案	支援に対する効果として成果を求めること、自らでPDCAサイクルを確立することなどの指導を継続するとともに、支援の効果が各事業者にとってのメリットであることの周知を徹底し、会員獲得に努めます。 産業振興条例の理念に基づく市全体での取り組みを実施します。

整理番号
332 -

決算書頁
265

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)02企業立地促進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-02-01
	基本事業	② 企業立地	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	企業立地促進経費		商工労働課企業誘致推進室

事務事業の概要	対象	立地企業、事業者										
	目的	企業を誘致し、税収を上げるとともに、地域の雇用の安定を図る。										
	根拠法令等	工場立地法、伊賀市工場誘致条例、伊賀市の適正な土地利用に関する条例、第2次伊賀市総合計画、第3次基本計画										
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致アンケートや過去に開催した企業誘致WEBセミナー視聴者アンケートより、有意回答のあった企業に対して、企業訪問を行い、伊賀市の魅力や進出意向など意見交換により誘致活動を行いました。 国内3,555社(市外3,114社、市内441社)に企業誘致アンケートを送付し、南部丘陵地の計画や立地した場合の優遇策などについて情報提供を行いました。 伊賀市の新産業用地の創出に向け、企業立地の側面から伊賀市の魅力を全国に発信し、伊賀市への進出、立地企業の掘起しを行うため、WEBを活用した企業誘致セミナーを3回(10月、1月、3月)と企業間交流を含めた産業交流セミナーを大阪で2月に開催しました。 伊賀市工場誘致条例に基づき奨励金を交付しました。 <table border="1"> <tr> <td>用地取得助成金</td> <td>1件</td> <td>10,001,500円</td> </tr> <tr> <td>立地奨励金</td> <td>4件</td> <td>42,595,300円</td> </tr> <tr> <td>雇用促進奨励金</td> <td>3件(45名)</td> <td>5,400,000円</td> </tr> </table>			用地取得助成金	1件	10,001,500円	立地奨励金	4件	42,595,300円	雇用促進奨励金	3件(45名)
用地取得助成金	1件	10,001,500円										
立地奨励金	4件	42,595,300円										
雇用促進奨励金	3件(45名)	5,400,000円										
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要									
	旅費	573,940円	企業訪問、産業交流セミナー(東京、大阪他)	573,940円								
	需用費	693,766円	消耗品費(産業交流セミナー消耗品、食材等)	601,036円								
	印刷製本費(アンケート用封筒印刷)	93,730円										
	役務費	530,020円	通信運搬費	25,780円								
			広告料(WEBセミナーバナー広告)	376,200円								
	委託料	10,290,478円	手数料(アンケート企業リスト抽出業務、クリーニング代)	128,040円								
			企業誘致WEBセミナー業務委託	9,020,000円								
			産業交流セミナー会場設営等業務委託	1,270,478円								
	使用料及び賃借料	19,230円	有料道路通行料 9,330円、駐車場借り上料 9,900円									
	負担金、補助及び交付金	57,996,850円	工場誘致奨励金	57,996,850円								
	計	70,104,284円										

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	3,500	3,609	1,000		デジタル田園都市国家構想交付金
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	31,691	66,258	66,495	74,159		
	合計(A)	31,691	69,758	70,104	75,159			
	事業費	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
			再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			会計年度任用職員	業務量 0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	3,082	15,748	15,748	15,946	
小計(B)			3,250	15,748	15,748	15,946		
合計(A+B)	34,941	85,506	85,852	91,105				
市民1人当たりのコスト(円)		410	1,018	1,022	1,084			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	優遇措置等説明企業数	アンケート有意企業への訪問数、説明数	件	目標	10	10	10
				実績	8	12	12
指標化できない成果	—	達成	80.0%	120.0%	100.0%	120.0%	

方向	改善	課題	<ul style="list-style-type: none"> ①立地企業の誘致活動を行ううえでの課題は、現行の制度は平成16年に制定されており、近年めまぐるしく変わる社会情勢や企業のニーズに対応する必要があるため、伊賀市の独自の強みも考慮した奨励措置の見直しが必要です。 ②開発事業者を誘致する際の最大の課題が立地企業の確保(売れ残りのリスクの軽減)です。 ③立地企業が確実に見込まれれば開発事業者の着手に繋がりますが、現状が山林であるため事業実現性の不安から立地企業の確約が得られていません。
	改善案	<ul style="list-style-type: none"> ①企業訪問やアンケート調査などで得られた情報活用と各自治体の制度と比較を行い、実効性のある立地奨励制度の見直しを進めます。 ②・③更なる企業の掘起しと企業訪問等により進出意向調書の獲得を行うことにより、新産業用地の早期創出に繋がるため、企業へのアプローチやPR活動の工夫を行います。 	

整理番号 333 -	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)03中心市街地等商店街活性化事業	決算書頁 265
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-03-01
	基本事業	① 商工業の活性化	担当部署	部・課名等
	事務事業名	中心市街地等商店街活性化事業	産業振興部商工労働課	評価責任者・連絡先 課長 古川 英一 0595-22-9669

対象	中心市街地等の商店及び商店街、上野商工会議所、まちづくり伊賀上野等
目的	商店街などの誘客活動を支援することで、中心市街地における歩行者等の通行量を増加させ、にぎわい回復を目指します。
根拠法令等	中心市街地等商店街活性化事業費補助金交付要綱

事務事業の概要	内容	<p>①市民夏のにぎわいフェスタ2024…8/24「まちなかの魅力再発見」をテーマに、まち歩き、出店のチャレンジの場の提供、中心市街地のにぎわい創出を目的としたイベントを実施しました。②灯りの城下町事業…10/12～10/14に行灯、竹灯りで風情・賑わいのあるまちを演出する灯りの城下町を実施し、合わせて飲食店の参画を得て城下町バルを実施しました。③灯りの芭蕉路事業…灯りの城下町の実施に合わせて灯りの設置等を行うとともに城下町バルとの連携で城下町バルストリートを開催しました。④上野中町商店街活性化事業…灯りの城下町の実施に合わせた中町まつりを開催し、年末感謝キャンペーンとしてQRコードを使った店舗PRを実施しました。⑤伊賀上野まちなかゼミナール開催事業…商店街等の店主やスタッフによる講座形式で魅力、技術、知識を伝え、誘客に繋げました。⑥伊賀上野まち百貨店…毎月第1土曜日に各個店でその日しか味わえない催しを連携して開催し、個店の魅力発信、顧客づくりに努めました。⑦銀座商店街賑わい創出事業…交流拠点のギャラリーを活用した各種イベント関連の展示や組合員のイベントへの出展を行うとともに、七夕笹飾りコンクールを実施して魅力発信を行いました。⑧伊賀マルシェ…市内店舗の魅力発信のため、ハイトピア伊賀駅前多目的広場において年4回のマルシェを開催しました。⑨ハイトピア伊賀ソーシャルアド事業…ハイトピア伊賀管内店舗の顧客獲得のためSNSによる情報発信事業を実施しました。</p>								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>3,625,900円</td> <td>市民夏のにぎわいフェスタ(フェスタ実施委員会) 1,500,000円 灯りの城下町(上野商工会議所) 240,000円 灯りの芭蕉路(灯りの芭蕉路実行委員会) 74,900円 上野中町商店街活性化事業(上野中町商店会) 393,000円 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業(上野商工会議所) 242,000円 伊賀上野まち百貨店(銀座商店街振興組合) 200,000円 銀座賑わい創出事業(銀座商店街振興組合) 500,000円 伊賀マルシェ(株)まちづくり伊賀上野 277,000円 ハイトピア伊賀ソーシャルアド事業(テナント会) 199,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,625,900円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	3,625,900円	市民夏のにぎわいフェスタ(フェスタ実施委員会) 1,500,000円 灯りの城下町(上野商工会議所) 240,000円 灯りの芭蕉路(灯りの芭蕉路実行委員会) 74,900円 上野中町商店街活性化事業(上野中町商店会) 393,000円 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業(上野商工会議所) 242,000円 伊賀上野まち百貨店(銀座商店街振興組合) 200,000円 銀座賑わい創出事業(銀座商店街振興組合) 500,000円 伊賀マルシェ(株)まちづくり伊賀上野 277,000円 ハイトピア伊賀ソーシャルアド事業(テナント会) 199,000円	計	3,625,900円
経費	金額	摘要								
負担金、補助及び交付金	3,625,900円	市民夏のにぎわいフェスタ(フェスタ実施委員会) 1,500,000円 灯りの城下町(上野商工会議所) 240,000円 灯りの芭蕉路(灯りの芭蕉路実行委員会) 74,900円 上野中町商店街活性化事業(上野中町商店会) 393,000円 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業(上野商工会議所) 242,000円 伊賀上野まち百貨店(銀座商店街振興組合) 200,000円 銀座賑わい創出事業(銀座商店街振興組合) 500,000円 伊賀マルシェ(株)まちづくり伊賀上野 277,000円 ハイトピア伊賀ソーシャルアド事業(テナント会) 199,000円								
計	3,625,900円									

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0	ふるさと応援基金繰入金	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	1,104	1,500	1,500	1,500		
		一般財源	1,595	2,180	2,126	2,000		
	合計(A)	2,699	3,680	3,626	3,500			
	事業費	人件費	正規職員	業務量 0.30 人	0.30 人	0.20 人	0.20 人	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
			再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	2,312	2,363	1,575	1,595	
小計(B)			2,312	2,363	1,575	1,595		
合計(A+B)	5,011	6,043	5,201	5,095				
市民1人当たりのコスト(円)		59	72	62	61			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標達成事業数	補助団体が補助金の交付申請時に各自設定する目標を達成した事業数	件	目標	4	7	7
				実績	1	3	5
	指標化できない成果	—	達成	25.0%	42.9%	71.4%	85.7%

方向	改善課題	中心市街地のにぎわい創出のために必要な事業であるが、例年同じ内容の事業を実施したり、内容が類似する事業があります。
	改善案	予算要求の際に、申請予定者に事業計画書(予算要望資料)の提出を求めます。また、事業計画書の提出にあたり、各申請者により実績や目標達成状況の検証、中長期計画等に基づく事業となるよう指導を行います。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-04-01
	基本事業	① 商工業の活性化	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	交流促進施設維持管理経費	産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	道の駅あやま利用者		
	目的	道の駅の利用者に対し、地域情報を提供するとともに、地域産業の振興を図る。		
	根拠法令等	伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例		
	内容	<p>阿山交流促進施設(道の駅あやま)の運営、施設及び設備の維持管理について、指定管理包括協定及び年度協定に基づき引き続き阿山物産振興協同組合による管理、運営を行いました。(5年のうち3年目)</p> <p>市内道の駅の連携強化や認知度向上のため、柘植地区住民自治協議会主催の「つげ地域収穫祭」に道の駅いがとともに出店し、伊賀ブランドに認定されている大判焼ひしみちゃんの販売を行いました。</p> <p>【指定管理の内容】 道の駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供するとともに、トイレ等の休憩施設を提供する。また、自主事業により地場製品の販売、飲食の提供等を行う。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	330,000円	道の駅あやま浄化槽放流ポンプ修繕料	330,000円
	委託料	4,000,000円	交流促進施設指定管理料	4,000,000円
	計	4,330,000円		

	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	商工費使用料(郵便ポスト目的外使用料)	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	1	1	1		1
		一般財源	4,614	0	0	4,329	5,226	5,226	5,226		5,226
		合計(A)	4,614	0	0	4,330	5,227	5,227	5,227		5,227
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.20 人	0.20 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
		人件費	1,541	1,575	1,969	1,994	1,994	1,994	1,994		
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0	0	0	0		
小計(B)	1,541	1,575	1,969	1,994	1,994	1,994	1,994				
合計(A+B)	6,155	1,575	6,299	7,221	7,221	7,221	7,221				
市民1人当たりのコスト(円)		73	19	75	86	86	86	86			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	施設利用者数	施設全体の利用者数(推計値) ※物産コーナー利用者×4人	人	目標	220,000	220,000	220,000	220,000
				実績	176,000	192,870	190,256	182,452
指標化できない成果	—	達成	80.0%	87.7%	86.5%	82.9%		

方向	改善課題	隣接施設が休館となった影響もあり利用者が昨対比で減少となったため回復を目指し適正管理、販売促進を進める必要があります。 開設後約20年以上が経過しているため、施設の老朽化が進んでいます。
	改善案	施設の適正管理による快適な利用空間の提供やイベントの実施などを継続するとともに、他の道の駅等と連携した取り組みを強化します。 施設の維持に必要な修繕を順次実施します。

整理番号	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)05産学官連携研究開発拠点運営経費	決算書頁
335 -		265

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-6 就業・起業	H21 年度～ R6 年度	01-07-01-02-05-01
	基本事業	② 創業支援	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	産学官連携研究開発拠点運営経費	担当部署	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	伊賀地域で起業を考えている個人及び2次起業を考えている法人													
	目的	地域資源の活用による地域産業の活性化と新産業の創出													
	根拠法令等	産学官連携伊賀研究拠点施設の設置及び運営管理に関する協定													
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」を運営している伊賀市文化都市協会に対し、施設管理運営負担金を支出しました。 市内外事業者等7件の共同研究、技術相談を実施したほか、理科教育振興のため出前授業を実施するなど地域産業の活性化とともに次世代育成に取り組みました。 小学生を対象とした「こども大学」を2回開催し、理科系人材育成に向けた理科実験授業を行いました。(第30回:35名、第31回:37名) 新規創業者や経営者等を対象に、情報交流カフェを開催しました。(7月:43名、12月:46名) 三重大学産学官連携セミナーin伊賀を開催しました。 インキュベーションマネージャーを1名配置し、創業・企業等の相談・訪問を338件行いました。 インキュベーション室への新規入居が1件あり、インキュベーションマネージャーによる創業や経営についてのアドバイスを随時行いました。(3月末現在の入居数:5件(4部屋+3ブース=全7件中)) 三重大学、文化都市協会、市の三者が連携して、三重大学伊賀研究拠点全体会議・共同研究施設運営委員会・産学官連携伊賀研究拠点WG会議を開催し、ゆめテクノ伊賀に関連する取組について関係団体と情報共有・意見交換を行いました。 													
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>984,000円</td> <td>駐車場借上料 984,000円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>20,654,000円</td> <td>施設管理運営負担金 20,654,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21,638,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	使用料及び賃借料	984,000円	駐車場借上料 984,000円	負担金、補助及び交付金	20,654,000円	施設管理運営負担金 20,654,000円	計	21,638,000円			
経費	金額	摘要													
使用料及び賃借料	984,000円	駐車場借上料 984,000円													
負担金、補助及び交付金	20,654,000円	施設管理運営負担金 20,654,000円													
計	21,638,000円														

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	駐車場用地貸付料 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	49	0	49	0	
		一般財源	20,050	21,638	21,589	21,525	21,525	21,525	21,525	
		合計(A)	20,050	21,638	21,638	21,638	21,574	21,574	21,574	
	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.55 人	0.55 人	0.55 人	0.55 人	
			人件費	2,312	2,363	4,331	4,386	4,386	4,386	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費	0	0	0	0	0	0	0			
小計(B)	2,312	2,363	4,331	4,386	4,386	4,386	4,386			
合計(A+B)	22,362	24,001	25,969	25,960	25,960	25,960	25,960			
市民1人当たりのコスト(円)	263	286	309	309	309	309	309			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	共同研究の成立数	共同研究の成立数	件	目標	10	10	10	10
				実績	7	8	8	7
指標化できない成果	—	—	達成	70.0%	80.0%	80.0%	70.0%	

方向	改善	<ul style="list-style-type: none"> 本事業について市内では認知度が低く、より多くの市民や市内企業に関心を持ってもらう必要があります。 設備や研究機器の老朽化が進んでいます。 	課題
	改善案	<ul style="list-style-type: none"> 本事業について市民や市内企業に周知を行い、認知度の向上を目指すとともに、利用促進を図ります。また、今後のあり方について文化都市協会や三重大学などの関係機関とともに検討を進めます。 修繕等を計画的に行います。 	

整理番号
336 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)06営業本部活動事業

決算書頁
267

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	R4 年度～	R6 年度	01-07-01-02-06-03
	基本事業	① 商工業の活性化	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	営業本部活動事業	担当部署	産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9713

事務事業の概要	対象	関西圏、中部圏、首都圏を最重要エリアとする国内外			
	目的	食、物産、観光、歴史、文化、産業、それらに関わる人などの魅力を効果的に発信し、観光客の増加や地元産品の販路拡大につなげ、伊賀市の賑わいづくりや産業の振興に資する。			
	根拠法令等				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・志摩市との連携事業において、伊勢えび祭に出展し、伊賀米や菜種油の販売PRを行いました。 ・大阪天神橋筋商店街において、「伊賀産品季節のアンテナショップ」を開催し伊賀米など伊賀産品の販売PRを行いました。 伊賀産品季節のアンテナショップ-H.A.R.U- 伊賀産品季節のアンテナショップ-A.K.I-			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	報償費	21,672円	謝礼【伊勢えび祭】		
	旅費				
	需用費	100,000円	消耗品費		
	使用料及び賃借料	6,600円	会場借上料【季節のアンテナショップ】		
		43,310円	有料道路通行料【季節のアンテナショップ】		
		14,600円	駐車場借上料【季節のアンテナショップ】		
	計	186,182円			

	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	1,250	0	0	0	0	0	0	令和5年度の人件費の業務量は商工労働課、農林振興課、観光戦略課の合算値を記載、令和6年度は農林振興課分のみ記載
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	1,307	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	2,298	672	186	0	0	0	0	
		合計(A)	4,855	672	186	0	0	0	0	
事業費	正規職員	業務量	2.10 人	0.70 人	0.70 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
		人件費	16,181	5,512	5,512	0	0	0		
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0	0	0		
	会計年度任用職員	業務量	0.11 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	185	0	0	0	0	0		
小計(B)	16,366	5,512	5,512	0	0	0	0			
合計(A+B)	21,221	6,184	5,698	0	0	0	0			
市民1人当たりのコスト(円)		249	74	68	0	0	0	0		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	営業活動件数	営業本部における重点取組に位置付けられた事業、取り組み等の件数	件	目標	—	20	22	22
				実績	—	22	37	3
指標化できない成果	—	—	達成	—	110.0%	168.2%	13.6%	

方向	廃止	課題	
		改善案	

整理番号
337 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)07地場産業振興事業

決算書頁
267

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-07-01
	基本事業	① 商工業の活性化	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	地場産業振興事業		産業振興部商工労働課
				評価責任者・連絡先 課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	物産振興団体		
	目的	地場産業の振興、伝統工芸品産業(伊賀焼・伊賀組紐)の振興を図る		
	根拠法令等	伝統的工芸品産業の振興に関する法律		
	内容	<p>・伊賀ブランド及び伊賀市の伝統産業等の振興のため伊賀ブランド推進協議会及び伊賀市物産協会の振興に係る業務を委託し、伊賀ブランド「IGAMONO」及び伊賀市物産の知名度アップや価値向上、事業者の生産意欲や販売意欲の向上、新たな事業展開への創出を支援しました。また、事業展開のひとつとして市内外での物産展に積極的に参画し、じばさんまつりin伊賀、伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園、伊賀上野NINJAフェスタin天神橋筋商店街等に伊賀ブランド推進協議会、伊賀市物産協会として主催、出店等を行い、製品のPRを行うとともに、販路の新規開拓、顧客獲得等の事業者育成の場を提供しました。</p> <p>・伊賀焼伝統産業会館の管理について、指定管理者基本協定に基づき伊賀焼振興協同組合に委託を行い運営を行いました。(5年の内の1年目)また、浄化槽の老朽化に伴い、既存の単独浄化槽から合併浄化槽への取替工事を実施しました。</p> <p>・伝統的工芸品である伊賀組紐及び伊賀焼の普及、振興のため、三重県組紐協同組合、伊賀焼振興協同組合に対し伝統的工芸品産業振興事業を委託しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	10,421,700円	伊賀焼伝統産業会館指定管理料	4,248,000円
			伊賀焼伝統産業会館施設設計業務委託料	1,426,700円
			地場産業振興(じばさんまつり等)委託料	800,000円
			伝統的工芸品産業振興事業委託料	447,000円
			伊賀ブランド推進事業委託料	3,500,000円
	工事請負費	14,711,400円	伊賀焼伝統産業会館浄化槽取替工事	14,711,400円
	負担金、補助及び交付金	377,210円	伝統的工芸品産業振興協会負担金	50,000円
			伊賀市物産協会負担金	130,884円
			伊賀ブランド推進協議会負担金	196,326円
	その他	800,534円	旅費、需用費、手数料、使用料及び賃借料	800,534円
	計	26,310,844円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国庫支出金	0	1,250	1,600	1,490	
		地方債	0	21,300	0	0	
		その他	406	752	1,063	1,773	
		一般財源	6,029	8,493	23,648	8,861	
		合計(A)	6,435	31,795	26,311	12,124	
	事業費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.90 人	1.00 人
			人件費	2,312	2,363	7,087	7,973
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人件費	0		0	0	0		
	小計(B)	2,312	2,363	7,087	7,973		
	合計(A+B)	8,747	34,158	33,398	20,097		
	市民1人当たりのコスト(円)	103	407	398	240	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	伊賀焼伝統産業会館・伊賀伝統伝承館の来客数	伊賀焼伝統産業会館・伊賀伝統伝承館の来客数	人	目標	15,000	22,000	22,000
				実績	13,416	19,955	18,270
指標化できない成果	—	達成	89.4%	90.7%	83.0%	89.8%	

方向	改善課題	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸品の次世代への継承について、担い手不足による事業衰退が懸念されます。 ・施設の老朽化に伴い、大規模修繕を見据えた維持管理を行っていく必要があります。
	改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なPR活動により業界自体の認知度を高めることで、後継者育成に繋がります。 ・施設の機能維持を図るため、様々な財源の活用を考慮しながら、保守、修繕に努めます。

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)01観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-1 観光	H16 年度～	R6 年度	01-07-01-03-01-04
	基本事業	① 観光誘客と情報発信	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光情報等発信経費	担当部署	総務部秘書広報課	課長 兼重 強 0595-22-9600

事務事業の概要	対象	国内・外の観光客、食材扱い業者		
	目的	伊賀市の観光地や特産品などの情報を広く発信し、観光客増加、特産品の市外への販路を拡大する。		
	根拠法令等	観光振興ビジョン、シティプロモーション指針、伊賀市広報戦略指針		
	内容	<p>トップセールスによる誘客及び「伊賀市」「伊賀産(いがもの)」のPR活動を行いました。</p> <p>1. 観光誘客のためのPR活動(伊賀流忍者、伊賀上野城、俳聖松尾芭蕉生誕の地) ・首都圏及び大阪における伊賀市のPR活動</p> <p>2. 伊賀産(いがもの)の販売と販路拡大のためのPR活動(伊賀牛、伊賀米、伊賀酒、伊賀焼など)</p> <p>3. 地域振興のためのトップセールス</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	53,000円	観光誘客PR	
	需用費	607,828円	消耗品費(PR用記念品等)	
	役務費	12,540円	手数料	
	使用料及び賃借料	1,360円	有料道路通行料	
	計	674,728円		

項目		R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	秘書事務管理経費に統合します。
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	788	1,268	675	0	
	合計(A)	788	1,268	675	0	
事業費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.00 人
		人件費	155	158	158	0
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.00 人
		人件費	336	356	356	0
小計(B)		491	514	514	0	
合計(A+B)		1,279	1,782	1,189	0	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
市民1人当たりのコスト(円)		15	22	15	0	

指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
伊賀市の認知度	地域ブランド調査による伊賀市の認知度のスコアから、トップセールスの効果を表す。	位	目標	200	200	190	180
			実績	210	188	181	217
指標化できない成果	—	達成	95%	106%	105%	83%	

方向	統合	課題	これまで、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いトップセールスの機会が限定され、十分なPRができていませんでした。
	改善案		市外へ出向いてのトップセールスに加え、市外からの来客にもPR用記念品等を活用した取り組みを心掛けます。今後、トップセールスの効果が表れるような機会を注視し、PRを行います。あらゆる機会をとらえてトップセールスを行う必要があるため、秘書事務管理経費に統合します。

整理番号
339 -

決算書頁
267

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)01観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	3-1 観光	H30 年度～	R6 年度	01-07-01-03-01-07
	基本事業	① 観光誘客と情報発信	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	忍者市プロジェクト事業	担当部署	産業振興部観光戦略課	課長 山田 靖子 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客、市民		
	目的	「忍者」を入り口・切り口として当市の地域資源を効果的にプロモーションするとともに、受け入れ体制の充実を図る。		
	根拠法令等			
	内容	<p>■忍者体験施設整備業務委託料 中心市街地のにぎわい創出に向けて、上野公園から城下町エリア(忍者体験施設周辺)を結ぶ導線を「にぎわい忍者回廊」と位置づけ、エリア内の公共施設や民間施設の一体的な利活用について民間活力を導入し、PFI方式による施設整備(忍者体験施設整備:周辺エリアを包括的に捉えたエリアマネジメントによるまちめぐり拠点及び観光まちづくり拠点の整備)を推進しており、令和6年度は次の取組みを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忍者体験施設実施設計業務 ・忍者体験施設工事の一部 ・にぎわい忍者回廊プロモーション業務(三重県観光連盟「観光三重」と連携したSNS誘客プロモーション) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	246,785,836円	忍者体験施設整備業務委託料 242,743,900円 にぎわい忍者回廊プロモーション業務委託料 2,480,500円 忍者体験施設運営管理業務委託料 1,264,436円 伊賀流忍者体験施設に係る 297,000円 行政財産貸付料算定業務委託料	
	謝礼	350,000円	忍者回廊PFI事業外部有識者への謝礼	
	旅費	278,613円	旅費	
	計	247,414,449円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
事業費	直接事業費	国県支出金	57,845		1,248		0		0	商工債 観光施設整備事業 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
		地方債	133,800		200,200		200,200		0		
		その他	0		0		0		0		
		一般財源	40,090		31,357		47,215		2,781		
		合計(A)	231,735		232,805		247,415		2,781		
	人件費	正規職員	業務量	1.47 人		1.47 人		1.47 人			0.20 人
			人件費	11,327		11,575		11,575			1,595
		再任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
			人件費	0		0		0			0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
	人件費	0		0		0		0			
	小計(B)	11,327		11,575		11,575		1,595			
	合計(A+B)	243,062		244,380		258,990		4,376			
	市民1人当たりのコスト(円)	2,849		2,908		3,082		53			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	市の認知度	地域ブランド調査(全国1,000市町村を対象としたランキング)	位	目標	200	190	180	170
				実績	210	188	181	217
指標化できない成果	—	達成	95.24%	103%	99.45%	78.3%		

方向	改善	課題	①SPC(にぎわいパートナーズ)によるPFI事業のモニタリングを適切に実施する必要があります。 ②にぎわい忍者回廊のエリアにおける受入環境整備を進める必要があります。 ③忍者の聖地としてのブランディング及びその情報発信をより効果的に行う必要があります。
	改善案	①必要に応じ、有識者や専門家へのアドバイスを求めながら、モニタリングを適切に行います。 ②上野公園周辺における未利用の市有観光施設について、民間活力導入を含めた利活用方針を検討します。また、外国人旅行者に対応したサイン整備を行います。 ③忍者体験施設オープンに係るプロモーションをSPCと協力、役割分担し行います。	

整理番号
340 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)01観光振興経費

決算書頁
267

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	3-1 観光	R3 年度～	R6 年度	01-07-01-03-01-08
	基本事業	② 観光客の受け入れ	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光振興管理経費	担当部署	産業振興部観光戦略課	課長 山田 靖子 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客			
	目的	行政として観光振興に資する事業を行うとともに、テーマや地域の魅力ある観光資源に関する広域観光連携を推進することにより観光客の増加を図る。			
	根拠法令等				
	内容	<p>・伊賀市観光大使による情報発信・PR活動を支援しました。</p> <p>・テーマ等や地域に関連する広域観光協議会等に参画し、情報共有及び連携を図るとともに、各協議会等の目的を達成するため、分野横断的な事業を実施しました。</p> <p>[協議会]忍びの里伊賀甲賀忍者協議会、日本忍者協議会、伊賀流忍者観光推進協議会、国際忍者学会、三重県観光連盟、東海地区外国人観光客誘致促進協議会、歴史街道推進協議会、伊賀上野観光協会、室生赤目青山国定公園協会、東大和西三重観光連盟、鈴鹿国定公園協会</p> <p>・地域活性化起業人制度を活用し、関西都市圏の企業および団体から2名の専門家人材(公民連携、大阪船場地域との連携)の派遣を受けるとともに、観光地域づくりに資する企画立案業務を委託しました。</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	負担金、補助及び交付金	16,850,600円	地域活性化起業人事業負担金	11,184,000円	
			各種協議会負担金	5,666,600円	
	委託料	2,573,100円	地域活性化起業人等活動支援事業委託料等	2,573,100円	
	需用費	296,727円	消耗品費・食糧費	296,727円	
	手数料	1,100円		1,100円	
	使用料及び賃借料	275,270円	有料道路通行料・駐車場借上料・入場料	275,270円	
	謝礼	1,107,000円	イベント出演に係る観光大使への謝礼	1,107,000円	
	賞品及び記念品	15,730円	賞品及び記念品	15,730円	
	旅費	338,920円	旅費	338,920円	
	積立金	530,246円	観光振興基金積立金	530,246円	
	計	21,988,693円			

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金	250	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	482	489	580	1,098	
		一般財源	17,858	21,950	21,409	32,142	
	合計(A)	18,590	22,439	21,989	33,240		
	事業費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人
			人件費	15,410	15,748	15,748	15,946
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	
	人件費	1,260	1,332	1,332	1,621		
小計(B)	16,670	17,080	17,080	17,567			
合計(A+B)	35,260	39,519	39,069	50,807			
市民1人当たりのコスト(円)	414	471	465	605	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	来訪者の満足度	DMOの来訪者アンケート(10段階評価の8~10と回答した人の割合)	%	目標	54	56	60
				実績	51.94	57.52	60.15
指標化できない成果	—	達成	96.19%	102.71%	99.82%	100.25%	

方向	充実	課題	国内外の観光客から「選ばれる観光地」となるため、従来の観光地単位(点)での観光を、エリア(面)で捉え、多様な関係者が相互に連携・協力しながら、観光客視点に立った広域周遊ルートの設定、戦略的な情報整備を推進させる必要があります。
	改善案	協議会単位で共通のビジョンを明確にし、インパクトと魅力ある圏域づくりを行うため、国や県、協議会単独の補助制度を活用し、地域をまたぐテーマ型の滞在型旅行商品の造成、国内外の観光客の受入環境整備及び公式サイト・SNS等による戦略的な情報発信を行います。	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	3-1 観光	R3 年度～ R6 年度	01-07-01-03-01-09
	基本事業	② 観光客の受け入れ	担当部署	部・課名等
	事務事業名	観光地域づくり支援事業	産業振興部観光戦略課	評価責任者・連絡先 課長 山田 靖子 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客、観光客を受け入れようとする市民(団体)													
	目的	地域資源の観光商品化及び観光客を受け入れる組織の育成、市内に滞在・周遊してもらえる商品の開発と情報発信を行い観光客の増加を図る。													
	根拠法令等														
	内容	<p>観光地域づくり法人(DMO)を中心に多様な主体が連携・協力し、施策づくりや情報発信をはじめ、観光を産業として確立すべく、総合的な観点から観光まちづくりを推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●重点取組① 宿泊・交通を中心とした事業者との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングデータ収集・分析 → 来訪者スマホアンケート調査の実施およびデータ分析 ・観光関連事業者との方向性の共有と合意形成 → イガコレMeetingの開催 ●重点取組② 高単価・高リピート層に対応できるコンテンツの作成および販売 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的文化(忍者)を生かした新たな価値創造事業(観光庁特別体験事業)の実施 ・忍者だけでない伊賀の魅力と奥深さを香り・匂いで感じ、創造する旅の造成(三重県伴走支援事業)の実施 ●重点取組③ タビマエ、タビナカの情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・伊賀市公式観光情報サイト「伊賀イド」の制作・運営 ・観光ガイドMAPのリニューアル(城下町(日本語・英語)、市全域、) ・(一社)アーバンツーリズム大阪・船場との連携により、大阪エリアでのプロモーションイベントを実施(「忍びの里伊賀・甲賀秋の陣」9/7～8)、ツーリズムEXPO2024出展 9/26～9/29 ●重点取組④ インバウンド誘客の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・フランス/ドイツミッション(三重県トップセールスとの連携による、フランス/ドイツでの現地商談およびプロモーション) ・海外エージェンツFAMの受入(12件、7カ国) 													
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>33,820,000円</td> <td>DMO事業推進負担金 28,320,000円 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会負担金 5,000,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>362,572円</td> <td>大坂・忍び文化観光プロジェクト負担金 500,000円 旅費 362,572円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34,182,572円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	33,820,000円	DMO事業推進負担金 28,320,000円 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会負担金 5,000,000円	旅費	362,572円	大坂・忍び文化観光プロジェクト負担金 500,000円 旅費 362,572円	計	34,182,572円			
経費	金額	摘要													
負担金、補助及び交付金	33,820,000円	DMO事業推進負担金 28,320,000円 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会負担金 5,000,000円													
旅費	362,572円	大坂・忍び文化観光プロジェクト負担金 500,000円 旅費 362,572円													
計	34,182,572円														

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	13,929		16,910		15,544		20,150		【国県支出金】 ・デジタル田園都市国家構想交付金 【その他】 ・ふるさと応援基金繰入金
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		2,250		2,250		0		
	一般財源	17,295		15,034		16,389		20,524		
	合計(A)	31,224		34,194		34,183		40,674		
事業費	正規職員	業務量	3.00 人	2.50 人	2.50 人	2.50 人	2.50 人	2.50 人		
		人件費	23,115	19,685	19,685	19,933	19,933			
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0	0			
	会計年度任用職員	業務量	1.00 人	0.80 人	0.80 人	0.80 人	0.80 人	0.00 人		
		人件費	1,679	1,421	1,421	1,421	0			
小計(B)	24,794	21,106	21,106	21,106	19,933					
合計(A+B)	56,018	55,300	55,289	60,607						
市民1人当たりのコスト(円)		657	658	658	721	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	観光消費額	三重県観光レクリエーション入込客数推計書:伊賀地域の観光客の消費単価(宿泊・日帰りの平均)	円	目標	12,154	13,188	14,222	15,257
				実績	11,827	11,834	11,979	未
指標化できない成果	—		達成	97.3%	89.7%	84.2%		

方向	充実	課題	<p>①いまだ観光入込客数がコロナ前水準に戻っていません。</p> <p>②DMOの事業運営について、実施すべき業務量に対して人員が不足しています。</p>
	改善案	<p>①DMOと連携し、データマーケティングによる観光客減少の原因調査を行い、旅行者のターゲットを絞ります。また、調査結果を地域事業者と情報共有し、効果的なプロモーション及び受け入れ環境整備の強化を行います。</p> <p>②地域おこし協力隊を登用し、地域民間事業者との連携・役割分担により業務量の最適化を行います。地域活性化起業人制度を活用し、DMOの運営支援等を積極的に行います。</p>	

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)02観光施設維持管理事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-事業
	施策	3-1 観光	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-03-02-01
	基本事業	② 観光客の受け入れ	担当部署	部・課名等
	事務事業名	観光施設維持管理事業	産業振興部観光戦略課	評価責任者・連絡先 課長 山田 靖子 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客		
	目的	観光施設の維持管理により、観光客が気持ちよく利用できる環境づくりを行う。		
	根拠法令等			
	内容	<p>【観光戦略課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来訪者の満足度及び利便性の向上のため、観光施設及び便益施設の運営・維持管理を行いました。 [対象施設]伊賀市観光案内所、だんじり会館、阿山ふるさとの森公園、東海自然歩道、白藤滝、奥余野公園、霊山、霊山寺休憩所及び公衆便所、新大仏寺路傍休憩地、ふるさと公園、青山高原山頂小屋、尼ヶ岳、桜山公園、兼好塚 老朽化している観光案内サインの修繕・撤去を行いました。 <p>【大山田支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 千戸道路公園施設の維持管理を行いました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	4,103,024円	消耗品費・光熱水費・修繕料	4,103,024円
	役務費	1,084,761円	通信運搬費・手数料	1,074,227円
	委託料	36,819,471円	傷害保険料・動産保険料	10,534円
			だんじり会館指定管理料	19,909,000円
			観光施設維持管理業務委託料	7,183,491円
			観光案内所業務委託料	7,450,000円
			浄化槽清掃等保守点検業務委託料等	331,540円
			植栽管理等	1,760,000円
	使用料及び賃借料	683,516円	霊山トイレ用地借上料等	683,516円
	工事請負費	594,000円	観光案内看板撤去費	594,000円
	計	43,284,772円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	3,251		2,393		3,200		3,428		【国県支出金】 東海自然歩道管理委託金 ふるさと公園維持管理委託金
	地方債	0		0		0		0		
	その他	4,762		0		0		8,783		
	一般財源	43,296		28,526		40,085		37,405		
	合計(A)	51,309		30,919		43,285		49,616		
事業費	正規職員	業務量	1.67 人	1.47 人	1.47 人	1.87 人				※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
		人件費	12,868	11,575	11,575	14,910				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人				
		人件費	840	888	888	1,081				
小計(B)		13,708	12,463	12,463	15,991					
合計(A+B)		65,017	43,382	55,748	65,607					
市民1人当たりのコスト(円)		762	517	664	781					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	委託者との運営協議回数	各施設において、委託者と施行運営において協議を行なった回数(各施設毎)	回	目標	4	4	4	4
				実績	4	4	4	4
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%	100%	

方向	改善	課題	建物の老朽化進行による修繕箇所の増加や、人件費及びエネルギーコストの高騰等の影響により、施設の維持管理費が上昇しています。
		改善案	修繕の優先度合いを精査し、限られた予算内で効率的・効果的に修繕を行い、施設の適正な維持管理に努めます。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-中-事業
	施策	3-1 観光	R5 年度～	R6 年度	01-07-01-03-02-04
	基本事業	② 観光客の受け入れ	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光施設利活用事業	担当部署	産業振興部観光戦略課	課長 山田 靖子 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客			
	目的	観光施設の計画的な修繕と適正な維持管理を行う。			
	根拠法令等				
	内容	<p>・だんじり会館の文化財展示物(だんじり見送り幕等)を適正な環境下で保管・管理するため、計画に基づき、老朽化している空調機器の修繕を行いました。</p> <p>・建設から30年以上経過するだんじり会館の今後のあり方(方向性)などを検討するため、だんじり会館のあり方等検討委員会を設置し、外部の専門家や公募市民など計7名の委員により審議を行いました。</p> <p>・数馬茶屋(国登録有形文化財)の利活用を図るため、耐震改修工事にかかるアスベスト含有調査を実施するとともに、耐震補強計画作成及び設計業務を実施し、それに付随する第三者機関による耐震判定の審査を行いました。</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	需用費	3,388,000円	だんじり会館空調機器維持整備修繕工事費	3,388,000円	
	委託料	2,293,220円	数馬茶屋保存修理工事調査設計業務委託料	2,293,220円	
		101,200円	アスベスト含有調査業務委託料	101,200円	
	手数料	248,000円	数馬茶屋耐震診断判定に係る手数料	248,000円	
	報酬	192,000円	だんじり会館あり方等検討委員会報酬	192,000円	
	旅費	78,270円	旅費	78,270円	
	使用料及び賃借料	11,480円	システム使用料等	11,480円	
	計	6,312,170円			

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	2,393	0	2,108	20,400	0	デジタル田園都市国家構想交付金
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	5,412	0	0	0	0	28,713	0	
		一般財源	0	0	8,370	0	4,205	0	3,105	
		合計(A)	5,412	0	10,763	0	6,313	0	52,218	
	人件費	正規職員	業務量	0.33 人	0.33 人	0.70 人	0.60 人	0.60 人	0.60 人	
			人件費	2,543	2,599	5,512	4,784	4,784	4,784	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0	0	0			
	小計(B)	2,543	2,599	5,512	4,784	5,512	4,784	4,784		
	合計(A+B)	7,955	13,362	11,825	57,002	11,825	57,002	57,002		
	市民1人当たりのコスト(円)	94	159	141	679	141	679	679		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	来訪者の満足度	DMOの来訪者アンケート(10段階評価の8~10と回答した人の割合)	%	目標	—	—	58.0	60.0
				実績	—	—	57.90	60.15
指標化できない成果	—	—	達成	—	—	99.82%	100.25%	

方向	改善課題	だんじり会館は設備の不具合の発生や建物の老朽化の影響で、今後大規模改修や設備の更新は不可避であり、多額の経費がかかる見込みです。限られた財源の中で、将来にわたって施設の目的の実現と公共性を維持し、持続可能な運営体制を構築する必要があります。
	改善案	現施設の今後のあり方(方向性)及び位置づけに関して、だんじり会館のあり方等検討委員会において引き続き検討を進め、令和7年7月を目途に答申書の取りまとめを行います。市は、その答申を受けて、現施設のあり方について必要な見直し・改善を図ります。

整理番号	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)04エネルギー価格・物価高騰対策費(大事業)03物価高騰対策事業	決算書頁
344 -		271

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	R5 年度～	R6 年度	01-07-01-04-03-01
	基本事業	① 商工業の活性化	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	商工振興経費	担当部署	産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	事業者及び市民			
	目的	物価高騰の影響を受けている市民や中小小売業者への支援及び消費喚起による地域経済の活性化を目的とする。			
	根拠法令等				
	内容	物価高騰の影響を緩和するとともに、地域における消費拡大や経済活性化を目的として、商工団体が実施するプレミアム商品券発行事業に対して補助金を交付しました。令和5年度に商品券の引き換えに向けた準備、取扱事業者の公募を行い、令和6年度においては商品券の引き換え、使用、事業者への換金等を行いました。 ※令和5年度繰越事業として令和6年度で完了			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	補助金、負担金及び交付金	171,599,484円	プレミアム付商品券事業補助金(プレミアム分)	154,325,000円	
			プレミアム付商品券事業補助金(事務費分)	17,274,484円	
	計	171,599,484円			

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人			
事業費	直接事業費	国県支出金	0		133,759		133,759		0	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。		
		地方債	0		0		0		0			
		その他	0		45,810		37,841		0			
		一般財源	2,500		0		0		0			
		合計(A)	2,500		179,569		171,600		0			
	人件費	正規職員	業務量	0.20	人	0.20	人	0.10	人		0.00	人
			人件費	1,541		1,575		788			0	
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人		0.00	人
			人件費	0		0		0			0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人		0.00	人
人件費	0		0		0		0					
小計(B)	1,541		1,575		788		0					
合計(A+B)	4,041		181,144		172,388		0					
市民1人当たりのコスト(円)	48		2,155		2,051		0					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	プレミアム付商品券販売額	プレミアム付商品券の発行枚数に対する販売額	千円	目標	—	250,000	—	260,000
				実績	—	247,725	—	259,325
指標化できない成果	—	—	達成	—	99.1%	—	99.7%	

方向	廃止	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)01土木管理費(目)01土木総務費(大事業)02事務管理経費	決算書頁
345 -		271

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-01-01-02-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	一般事務経費	担当部署 建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	土木施設の管理全般及び期成同盟会活動		
	根拠法令等	道路法、伊賀市太陽光発電設備設置に関する指導要綱、伊賀市道路占用料条例、伊賀市道路認定に関する要綱		
	内容	<p>市道等の土木施設管理や加盟している期成同盟会活動を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路河川や砂防関係等の許認可業務(954件)、道路等の境界査定や用途廃止手続業務(163件)、太陽光発電設備設置に関する指導業務(31件)を実施しました。 ・一筆測量業務委託(道路敷地登記処理等)=2件 令和6年度市道阿保保育所前線道路用地登記業務委託【委託先】公益社団法人三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 市道愛田新堂停車場線用地測量調査業務委託(新堂地内)【委託先】株式会社白鳳アドバンス ・草刈業務委託(土木施設用地)=8件 柘植青葉台除草業務委託【委託先】特定非営利活動法人 絆 事業用地代替土地(きじが台地内)除草業務委託、事業用地代替土地(下友生地内)除草業務委託、令和6年度三田排水用地草刈業務委託、令和6年度朝屋排水用地草刈り業務委託【委託先】公益社団法人伊賀市シルバー人材センター 刈草処分【委託先】株式会社大栄工業 ・伊賀市道路台帳等修正業務委託=1式【委託先】株式会社パスコ 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	567,370円		
	需用費	502,306円	消耗品費	
	役務費	1,781,906円	賠償責任保険料 1,765,920円 通信運搬費、手数料 15,986円	
	委託料	13,153,033円	草刈業務委託料、一筆測量業務委託料 952,788円 電算関係(道路台帳更新等)委託料 12,200,245円	
	使用料及び賃借料	1,761,490円	システム等使用料 1,698,920円 有料道路通行料等 62,570円	
	負担金・補助金及び交付金	1,564,000円	期成同盟会等負担金(4件)	
	計	19,330,105円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		道路幅員等照明手数料
		地方債	0	0	0	0		複写料
		その他	13	423	409	326		
		一般財源	19,062	22,436	18,921	22,642		
	合計(A)	19,075	22,859	19,330	22,968			
	事業費	正規職員	業務量	3.65 人	3.60 人	3.60 人	3.92 人	
			人件費	28,124	28,347	28,347	31,255	
		再任用職員	業務量	0.79 人	0.85 人	0.79 人	0.65 人	
			人件費	2,783	3,073	2,856	2,479	
会計年度任用職員		業務量	2.00 人	2.00 人	1.80 人	1.85 人		
	人件費	3,358	3,552	3,197	3,998			
小計(B)		34,265	34,972	34,400	37,732			
合計(A+B)		53,340	57,831	53,730	60,700			
市民1人当たりのコスト(円)		626	688	640	723	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	—	—	—
				実績	—	—	—
	指標化できない成果	通常の土木施設の管理業務及び、期成同盟会活動(他市町村との組織)であるため。	達成	—	—	—	—

方向	継続	課題
		改善案

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	999 施策なし	R6 年度～	R6 年度	01-08-01-01-03-01	
	基本事業	基本事業なし	担当 部署		部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	県営土木事業負担金			建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市民			
	目的	三重県が実施する土木関係事業の負担金			
	根拠法令等	急傾斜地の崩落による災害の防止に関する法律、施行規則、施行令、施行細則(三重県)、急傾斜地崩落対策事業分担金徴収条例・県単急傾斜地崩壊対策事業負担金(愛田地区)			
	内容				
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要		
	負担金・補助及び交付金	1,000,000円	県単急傾斜地崩壊対策事業負担金		
	計	1,000,000円			

		項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	【特定財源】 県単急傾斜地崩壊対策事業分担金	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	500	500		
		一般財源	0	0	500	500		
		合計(A)	0	0	1,000	1,000		
	事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.40 人		0.40 人
			人件費	0	0	3,150		3,190
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
人件費	0		0	0	0			
	小計(B)	0	0	3,150	3,190			
	合計(A+B)	0	0	4,150	4,190			
	市民1人当たりのコスト(円)	0	0	50	50			

※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	県が実施する事業の経費のため	達成	—	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)01土木管理費(目)01土木総務費(大事業)04名神名阪連絡道路整備促進事業経費	決算書頁
347 -		273

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	R5 年度～	R6 年度	01-08-01-01-04-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	名神名阪連絡道路整備促進事業経費	担当部署	建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	名神名阪連絡道路の早期実現に向けての事業促進		
	根拠法令等	伊賀市補助金等交付規則、伊賀市名神名阪連絡道路整備促進事業補助金交付要綱		
	内容	<p>名阪国道と名神高速道路を結ぶ道路整備の早期実現に向けた啓発活動であり、当該道路の整備は、伊賀市の発展に寄与する大切な道路整備計画です。 広報活動を展開するために、幟旗(20枚)、クリアファイル(2,000枚)、ウェットティッシュ(300個)、ボールペン(1,000本)を作成し活動を行いました。</p> <p>名神名阪連絡道路の早期整備を推進するために活動するものとして市長が認める団体に補助金を交付しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	599,926円	消耗品費	
	負担金、補助及び交付金	185,000円	名神名阪連絡道路早期実現の会が	105,000円
			名神名阪連絡道路の整備区間指定を実現する会	80,000円
	計	784,926円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0		0		0		0		※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	791		1,100		785		220		
	合計(A)	791		1,100		785		220		
事業費	正規職員	業務量	0.52 人	0.52 人	0.01 人	0.01 人				
		人件費	4,007	4,095	79	80				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	4,007	4,095	79	80						
合計(A+B)	4,798	5,195	864	300						
市民1人当たりのコスト(円)	57	62	11	4						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	国が実施する事業に伴う啓発・促進経費のため。		達成	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号
348 -

決算書頁
273

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)02道路維持費(大事業)01道路維持経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H16 年度～	R6 年度	01-08-02-02-01-01
	基本事業	① 道路	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	道路維持経費		建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9726

事務事業の概要	対象	市が所管する道路			
	目的	道路舗装の異常または損傷を早期に発見するとともに、計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する			
	根拠法令等				
	内容	<p>道路を常時良好な状態に保つよう、道路舗装及び付属構造物の比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。また、路肩の除草、冬期には融雪剤散布等により道路機能を維持します。</p> <p>管理延長 L=約2,300km</p> <p>令和6年度は、342箇所の道路修繕等を行いました。 また、市道の草刈業務委託66件及び雪水対策業務委託39工区の委託を実施しました。</p>			
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要		
	需用費	73,180,973円	消耗品費、燃料費90地区、光熱水費	10,186,466円	
	役務費、使用料及び賃借料 委託料	1,325,179円 170,392,331円	修繕料(道路小修繕等342件) 通信運搬費、手数料、自動車借上料等 道路維持管理業務委託103件 草刈業務委託66件	62,994,507円 19,585,794円 81,844,000円	
	工事請負費	14,229,131円	街路樹管理業務委託18件 融雪剤散布等業務委託89件等	42,708,600円 26,253,937円	
	原材料費	28,404,703円	側溝改修工事1件、防草対策工事7件等		
	備品購入費	4,226,000円	融雪剤2,450袋、生コン269m ³ 、切込碎石533m ³ 等		
	計	291,758,317円	凍結防止剤散布機2台		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	1,300	594	3,000		環境保全基金繰入金
		地方債	0	0	0	0		環境保全負担金
		その他	15,723	60,508	67,104	111,941		みえ森と緑の県民税市町交付金 ふるさと応援基金繰入金
		一般財源	200,989	208,069	224,060	219,530		
	合計(A)	216,712	269,877	291,758	334,471			
	事業費 人件費	正規職員	業務量 3.05 人 人件費 23,501	3.05 人 24,016	3.05 人 24,016	3.05 人 24,318		
		再任用職員	業務量 0.00 人 人件費 0	0.00 人 0	0.00 人 0	0.00 人 0		
		会計年度任用職員	業務量 2.60 人 人件費 4,366	2.60 人 4,618	2.60 人 4,618	2.60 人 5,619		
		小計(B)	27,867	28,634	28,634	29,937		
		合計(A+B)	244,579	298,511	320,392	364,408	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
市民1人当たりのコスト(円)		2,866	3,552	3,812	4,336			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	—	—	—
				実績	—	—	—
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。	達成	—	—	—	—

方向	継続	課題	
	改善案		

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)01臨時地方道整備事業	決算書頁
349 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H16 年度～ R6 年度	01-08-02-03-01-01
	基本事業	① 道路	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	臨時地方道整備事業	建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9726

事務事業の概要	対象	市が所管する道路		
	目的	生活道路を人や車が安全に移動することが出来るよう整備する		
	根拠法令等			
	内容	道路を通行者が安全に安心して通行できるよう、道路改良や舗装修繕等の工事を実施します。 令和6年度は、舗装修繕工事17件、側溝修繕工事2件、法面修繕工事1件、防護柵修繕工事1件の計21件の工事を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	1,847,427円	消耗品費、燃料費	
	委託料	9,673,400円	測量登記業務委託3件、設計業務委託2件 9,673,400円	
		2,934,800円	地質調査業務委託1件 2,934,800円	
	工事請負費	188,960,900円	市道水越野線舗装修繕工事 21,884,500円 市道中友生荒木線舗装修繕工事 19,741,700円 その他舗装修繕工事15件 125,350,500円 市道愛宕町崇広堂線側溝修繕工事 7,200,000円 市道阿保羽根線水路修繕工事 6,514,200円 その他工事2件 8,270,000円	
	計	203,416,527円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		緊急自然災害防止対策事業債 環境保全基金繰入金
		地方債	124,500	171,800	177,700	206,200		
		その他	11,443	21,937	21,885	13,789		
		一般財源	3,149	5,836	3,832	5,250		
	合計(A)	139,092	199,573	203,417	225,239			
	事業費	正規職員	業務量	1.25 人	1.25 人	1.25 人	1.25 人	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
			人件費	9,632	9,843	9,843	9,967	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費	0	0	0	0				
小計(B)	9,632	9,843	9,843	9,967				
合計(A+B)	148,724	209,416	213,260	235,206				
市民1人当たりのコスト(円)	1,743	2,492	2,537	2,799				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画修繕箇所数	実施箇所数/全箇所	%	目標	9.8	42.6	55.7	78.7
				実績	9.8	42.6	55.7	78.7
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%	100%	

方向	継続	課題
		改善案

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁
350 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R6 年度	01-08-02-03-02-04
	基本事業	① 道路	担当 部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	西明寺緑ヶ丘線道路改良事業	建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	西明寺緑ヶ丘線		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する		
	根拠法令等			
	内容	市街地から国道163号を経て名阪国道へ接続する重要なアクセス道路であり、上野東部地域の南北を連絡する幹線道路として機能の整備を図ります。 事業概要 延長L=1,100m、幅員W=12.0m 令和6年度は、歩道部の道路改良(舗装含む)L=100m、旧市道の封鎖にかかる工事L=40mを実施し、事業を完了しました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	111,764円	消耗品費、燃料費	
	役務費	140円	通信運搬費	
	委託料	139,700円	交通量調査業務委託 139,700円	
	工事請負費	17,063,200円	道路改良工事2件 9,739,400円 舗装工事 2,667,500円 転落防止柵設置工事 2,877,600円 その他工事6件 1,778,700円	
	原材料費	13,750円		
	計	17,328,554円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	28,897		5,927		8,534		0		社会資本整備総合交付金50% 公共事業等債
	地方債	26,400		5,800		5,800		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	4,105		471		2,995		0		
	合計(A)	59,402		12,198		17,329		0		
事業費 人件費	正規職員	業務量	0.75 人	0.75 人		0.75 人		0.00 人		※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
		人件費	5,779	5,906	5,906		0			
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人			
		人件費	0	0	0		0			
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人			
		人件費	0	0	0		0			
	小計(B)	5,779	5,906	5,906		0				
	合計(A+B)	65,181	18,104	23,235		0				
	市民1人当たりのコスト(円)	764	216	277		0				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	90	99	99.9	100
				実績	90	99	99.9	100
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%	100%	

方向	完了	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁
351 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R6 年度	01-08-02-03-02-05
	基本事業	① 道路	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	依那古友生線他1線道路改良事業	建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	依那古友生線他1線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する		
	根拠法令等			
	内容	<p>依那古農免道路からゆめが丘住宅地南西端へ通じる幅員3mの見通しの悪い狭小な道路であるため危険であり、車両の対向に苦慮しています。スムーズな通行が出来るよう整備を行い、安全・安心に通行出来るよう整備します。</p> <p>事業概要 延長L=890m、幅員W=7.0m</p> <p>令和6年度は、舗装工事L=160m、防護柵設置工事など実施し、事業を完了しました。</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	726,888円	消耗品費、燃料費	
	役務費	6,072円	通信運搬費	
	委託料	1,821,600円	境界杭設置業務委託 1,821,600円	
	工事請負費	38,210,600円	道路改良工事 21,712,900円	
			舗装工事3件 12,402,500円	
			防護柵設置工事 3,077,700円	
			その他工事5件 1,017,500円	
	原材料費	21,285円		
	計	40,786,445円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	60,152		23,906		21,300		0		社会資本整備総合交付金55% 公共事業等債 補正予算債(防災・減災・国土強靱化緊急対策 事業債)
	地方債	47,300		21,300		16,000		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	2,152		421		3,486		0		
	合計(A)	109,604		45,627		40,786		0		
事業費 人件費	正規職員	業務量	0.65 人	0.65 人		0.65 人		0.00 人		
		人件費	5,009	5,119		5,119		0		
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人		0.00 人		
		人件費	0	0		0		0		
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人		0.00 人		
	人件費	0	0		0		0			
	小計(B)	5,009		5,119		5,119		0		
	合計(A+B)	114,613		50,746		45,905		0		
	市民1人当たりのコスト(円)	1,344		604		547		0		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗 (執行事業費/総事業費)	%	目標	66	75	99	100
				実績	66	75	99	100
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%	100%	

方向	完了	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁
352 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R6 年度	01-08-02-03-02-07
	基本事業	① 道路	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	舗装修繕事業	建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	二車線道路及び緊急輸送道路		
	目的	市が管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する		
	根拠法令等			
	内容	市が管理する道路で、交通量の多い生活道路や大型交通量が多く、舗装の劣化が早い幹線道路について、計画的に舗装修繕を行います。 事業概要 延長L=9,000m(R3年度～R8年度) 令和6年度は、予野大滝線の舗装修繕工事L=420m、舗装修繕計画の策定を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費、需用費	724,501円	旅費、消耗品費、燃料費	
	役務費	5,374円	通信運搬費	
	委託料	5,236,000円	舗装維持管理計画策定業務委託	5,236,000円
	工事請負費	46,163,700円	舗装修繕工事	46,163,700円
	原材料費	152,750円		
	計	52,282,325円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	65,902		32,395		25,700		43,191		社会資本整備総合交付金50% 公共事業等債 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
	地方債	62,500		26,900		20,500		34,300		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	5,482		7,089		6,082		5,864		
	合計(A)	133,884		66,384		52,282		83,355		
事業費	正規職員	業務量	0.80 人	0.80 人	0.80 人	0.80 人	0.80 人	0.80 人		
		人件費	6,164	6,300	6,300	6,379				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人		
		人件費	672	711	711	865				
小計(B)	6,836	7,011	7,011	7,244						
合計(A+B)	140,720	73,395	59,293	90,599						
市民1人当たりのコスト(円)	1,649	874	706	1,078						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	14	33	51	57
				実績	14	33	51	57
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%	100%	

方向	改善	課題	管内の幹線道路については、舗装路面の劣化が著しく通行に支障をきたす箇所が数多く見られますが、十分な事業費が確保できず、計画通りの進捗が困難です。
	改善案	重点事業である3か年緊急対策路線として修繕計画を立てることで、集中した修繕工事が可能となり、予算配分も安定するため、継続して工事が可能となります。また、補正予算を活用し、少しでも事業進捗を図ります。	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R4 年度～ R6 年度	01-08-02-03-02-13
	基本事業	① 道路	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	通学路整備事業		建設部道路河川課

事務事業の概要	対象	通学路に指定されている市道		
	目的	通学路の危険箇所を改善し、通学児童の安全・安心な歩行空間を確保する		
	根拠法令等			
	内容	<p>通学児童の安全・安心な歩行空間を確保するために、通学路交通安全プログラムに基づき通学路の危険箇所を改善し、交通安全対策を行います。</p> <p>令和6年度は、市道東條羽根線路肩整備工事 L=142m、市道久米守田線他13路線のグリーンベルト設置工事を実施しました。</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	750,551円	消耗品費、燃料費	
	委託料	299,200円	測量設計業務委託	
	工事請負費	34,328,400円	カラー舗装工事 20,446,800円	
	原材料費	88,000円	路肩整備工事2件 13,881,600円	
	計	35,466,151円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 社会資本整備総合交付金55% 公共事業等債
		国県支出金	10,945	27,500	19,045	23,690	
		地方債	8,000	12,800	14,000	17,400	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	11,418	10,700	2,421	2,645	
	合計(A)		30,363	51,000	35,466	43,735	
	事業費	正規職員	業務量	0.52 人	0.52 人	0.52 人	0.52 人
			人件費	4,007	4,095	4,095	4,146
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0		
小計(B)		4,007	4,095	4,095	4,146		
合計(A+B)		34,370	55,095	39,561	47,881	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
市民1人当たりのコスト(円)		403	656	471	570		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	通学路交通安全プログラムに記載の補助事業にて整備すべき箇所の整備率	%	目標	—	45	60	85
				実績	—	45	60	85
指標化できない成果	—	—	達成	—	100%	100%	100%	

方向	改善	課題	通学児童の重大事故が全国で相次いでおり、迅速な歩行空間の整備が喫緊の課題となっています。また、交通の安全を守るためには、ハード整備だけでなく、ルール・マナー等のソフト対策についても周知が必要となります。
	改善案		通学路交通安全プログラムにおいて、重点整備箇所の選定や整備優先順位を設定します。また、教育委員会や地域住民、学校等と連携し事故防止に向け安全な空間を確保します。

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁
354 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R5 年度～	R6 年度	01-08-02-03-02-14
	基本事業	① 道路	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	山神大谷線道路整備事業	担当部署	建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	山神大谷線		
	目的	拠点間を結ぶバイパス整備の推進により、円滑で安全な走行が可能な道路ネットワークの構築・機能強化を図る		
	根拠法令等			
	内容	<p>国道422号三田坂バイパスと国道25号を接続するバイパス整備と併せて、避難路としても有効利用されることから防災・減災、国土強靱化の推進を図ります。</p> <p>事業概要 延長L=800m、幅員W=8.5m</p> <p>令和6年度は、構造物設置のために周辺のボーリング調査を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	309,438円	消耗品費、燃料費	
	委託料	3,962,200円	不動産鑑定評価業務委託2件	187,000円
			地質調査業務委託	3,775,200円
	計	4,271,638円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	3,300		15,000		1,888		28,175		社会資本整備総合交付金50% 公共事業等債
	地方債	3,000		14,200		1,600		25,300		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	402		1,400		784		4,047		
	合計(A)	6,702		30,600		4,272		57,522		
事業費	正規職員	業務量	0.22 人	0.22 人	0.22 人	0.22 人				
		人件費	1,696	1,733	1,733	1,755				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	1,696	1,733	1,733	1,755						
合計(A+B)	8,398	32,333	6,005	59,277						
市民1人当たりのコスト(円)	99	385	72	706						

※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	—	—	2	5
				実績	—	—	2	5
指標化できない成果			達成	—	—	100%	100%	

方向	改善課題	当該道路整備は、地域経済の発展や防災能力向上に寄与することから地域から早期完成が望まれています。全国的な傾向として、道路新設・改築事業には国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難な状況です。
	改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算を効率的に活用し、予算の確保や現事業より進捗が図れ乗り換えが可能な他事業について国の動向を注視し、早期整備に努めます。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R6 年度～	R6 年度	01-08-02-04-01-02
	基本事業	② 橋梁	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	橋梁塗膜補修事業	担当部署	建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市が所管する橋梁			
	目的	塗膜にPCBが含有されている橋梁について、処理期限までに適正に処理するため、塗装塗り替えを実施する。			
	根拠法令等	PCB廃棄物特別措置法			
	内容	PCBを含有している市内の5橋について、塗装塗り替えを実施しました。 (低濃度PCB処理期限 令和9年3月31日) 令和6年度は、向出橋、前田橋の塗装塗り替えを実施しました。			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	需用費	502,621円	消耗品費、燃料費		
	役務費	2,060円	通信運搬費		
	委託料	7,188,500円	橋梁補修(塗膜)詳細設計業務委託 7,188,500円		
	工事請負費	31,368,700円	向出橋(向山稲端線)塗装塗替工事 15,964,300円 前田橋(大門綾部線)塗装塗替工事 15,404,400円		
	原材料費	49,430円			
	計	39,111,311円			

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 社会資本整備総合交付金50% 公共事業等債 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
		国県支出金	0	20,000	19,279	20,000		
		地方債	0	0	16,700	18,000		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	20,800	3,132	2,800		
	合計(A)	0	40,800	39,111	40,800			
	事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.55 人	0.55 人		0.55 人
			人件費	0	4,331	4,331		4,386
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
小計(B)	0	4,331	4,331	4,386				
合計(A+B)	0	45,131	43,442	45,186				
市民1人当たりのコスト(円)	0	537	517	538				

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業の進捗率	作業進捗(完了橋梁数/処分が必要な橋梁総数)	%	目標	—	—	—	40
				実績	—	—	—	40
指標化できない成果	—	—	達成	—	—	—	100%	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)02橋梁維持補修事業	決算書頁
356 -		277

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-02-04-02-01
	基本事業	基本事業なし	担当部署	部・課名等
	事務事業名	橋梁維持補修事業	建設部道路河川課	評価責任者・連絡先 課長 川部 正章 0595-22-9726

事務事業の概要	対象	市が所管する橋梁		
	目的	橋梁の経年劣化に伴う小規模な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する		
	根拠法令等			
	内容	橋梁を常時良好な状態に保つよう、橋梁本体及び付属構造物の比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。 令和6年度は、橋梁修繕3件を実施しました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	705,100円	修繕3件	
	計	705,100円		

	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	0		0		0		0	令和7年度から道路維持経費に統合 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
		地方債	6,300		0		0		0	
		その他	0		0		0		0	
		一般財源	682		485		705		0	
		合計(A)	6,982		485		705		0	
事業費	人件費	正規職員	業務量	0.19 人	0.19 人	0.19 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	1,464		1,497		1,497		0	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0		0		0		0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0		0		0		0	
	小計(B)	1,464		1,497		1,497		0		
	合計(A+B)	8,446		1,982		2,202		0		
	市民1人当たりのコスト(円)	99		24		27		0		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。		達成	—	—	—	

方向	統合	課題
		改善案

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)04道路メンテナンス事業	決算書頁
357 -		277

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R6 年度	01-08-02-04-04-01
	基本事業	② 橋梁	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市が所管する市道に架かる全橋梁		
	目的	今後老朽化する道路橋の急速な増大に対応するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、道路ネットワークの安全性・信頼性の確保に努める		
	根拠法令等			
	内容	市が管理する橋梁は約1,500橋あり、多くは市の幹線道路及び生活道路に架かる重要な橋梁であるため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、緊急を要し損傷、劣化等が見受けられる箇所を修繕し、コスト縮減を目標に安全・安心な道路空間の整備を図ります。 令和6年度は、橋梁点検業務、橋梁補修詳細設計、橋梁修繕工事N=5橋を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費・役務費	1,118,568円	消耗品費、燃料費、印刷製本費	
	役務費	11,166円	通信運搬費	
	委託料	79,858,343円	橋梁修繕設計業務委託4件 20,124,700円 橋梁点検診断業務委託5件 54,666,415円 システム保守業務委託 60,500円	
	工事請負費	22,940,100円	新堂駅跨線橋修繕工事委託料 5,006,728円 東側橋(木田原東之山線)塗装塗替工事 9,018,900円 柏野橋(柏野川西線)橋梁修繕工事 8,323,000円 駅前橋(西青山青山線)塗装塗替工事 4,210,000円 その他橋梁修繕工事3件 1,388,200円	
	計	103,928,177円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接事業費	国県支出金	67,207		123,954		59,782		242,729		道路メンテナンス事業補助金55% 公共事業等債 補正予算債(防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債)
	地方債	37,800		79,100		26,900		144,500		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	18,624		24,224		17,246		58,762		
	合計(A)	123,631		227,278		103,928		445,991		
事業費	正規職員	業務量	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人		
		人件費	5,779	5,906	5,906	5,906	5,980			
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0	0			
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0	0			
小計(B)	5,779	5,906	5,906	5,906	5,980					
合計(A+B)	129,410	233,184	109,834	451,971		※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。				
市民1人当たりのコスト(円)	1,517	2,775	1,307	5,377						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	橋梁修繕による作業進捗(補修完了橋梁数/補修が必要な橋梁総数)	%	目標	58	69	73	77
				実績	58	69	75	77
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	102%	100%	

方向	改善	課題	橋梁点検を行うごとに修繕が必要な橋梁が増加し、対策に必要な財源確保に苦慮しています。大規模な修繕とならないように、予防保全に努めたいが、早期に措置を講じるべき橋梁(Ⅲ判定)が多数存在し、予防保全への転換がうまく進んでいません。
	改善案		国の補正予算などを効率的に活用し、予算の確保に努め、Ⅲ判定橋梁の修繕数の前倒しを行います。

整理番号 358 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)04道路メンテナンス 事業	決算書頁 277
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R2 年度～ R6 年度	01-08-02-04-04-02
	基本事業	② 橋梁	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	印代山神線(山神橋)橋梁架替事業	担当部署 建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市道印代山神線(山神橋)		
	目的	山神橋の橋脚基礎部が洗掘により沈下し通行止めとなっており、修繕は不可能なため、架け替えを行う		
	根拠法令等			
	内容	<p>市道印代山神線の山神橋は、昭和29年に架橋され、架橋後60年以上が経過し、橋脚の基礎部が洗掘により著しく沈下したため、平成29年12月から通行止めを実施しています。老朽橋であり、修繕による機能回復は困難であるため、架け替えを行います。</p> <p>事業概要 延長L=158.8m、幅員W=10.5m</p> <p>令和6年度は、橋梁下部工事(橋脚2基)N=1件、測量N=1件、土質調査N=1件を実施しました。 ※橋梁下部工事は、令和6、7年度の複数年工事</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	951,845円	消耗品費、燃料費	
	役務費	16,968円	通信運搬費	
	委託料	5,980,000円	土質調査業務委託 1,140,000円 用地測量業務委託 4,840,000円	
	使用料及び賃借料	9,370円	有料道路通行料	
	工事請負費	174,888,400円	市道印代山神線山神橋(P1)橋梁下部工事 64,098,400円 市道印代山神線山神橋(P2、P3)橋梁下部工事 110,790,000円	
	原材料費	63,800円		
	計	181,910,383円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 道路メンテナンス事業補助金55% 公共事業等債 補正予算債(防災・減災・国土強靱化緊急対策 事業債)	
		国県支出金	38,897	127,124	96,189	181,627		
		地方債	30,200	100,600	68,800	135,559		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	4,682	5,523	16,921	15,639		
		合計(A)	73,779	233,247	181,910	332,825		
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.80 人	0.80 人	0.80 人	0.80 人	
			人件費	6,164	6,300	6,300	6,379	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	6,164	6,300	6,300	6,379			
	合計(A+B)	79,943	239,547	188,210	339,204	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。		
	市民1人当たりのコスト(円)	937	2,850	2,239	4,036			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	橋梁架け替えによる事業進捗率 (執行事業費/総事業費)	%	目標	11	18	29	35
				実績	11	18	26	41
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	89%	117%	

方向	改善課題	橋梁の架け替えには、膨大な時間と費用を必要とし、必要な費用の確保に苦慮しています。山神橋北詰からR422号へのバイパス道路について、同時に検討する必要があります。
	改善案	河川内工事となり様々な制約があるなか、効率的な工事が可能となるよう発注工事単位の見直しを行います。

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)05交通安全施設整備事業費(大事業)01交通安全施設維持修繕経費	決算書頁
359 -		277

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H16 年度～ R6 年度	01-08-02-05-01-01
	基本事業	① 道路	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	交通安全施設維持修繕経費	建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9726

事務事業の概要	対象	交通安全施設		
	目的	市民を交通事故から守り、また、安全かつ円滑な交通の確保に資することを目的とした各種交通安全施設の維持管理を行う		
	根拠法令等			
	内容	カーブミラー、ガードレール、区画線等の交通安全施設の新設及び修繕を行います。 令和6年度は、交通安全施設(カーブミラー・ガードレール・区画線等)の設置工事及び修繕工事を83件実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	79,750円	消耗品費	
		13,222,330円	修繕料(防護柵6件、道路反射鏡19件、区画線25件、視線誘導標等23件)	
	工事請負費	1,910,700円	道路反射鏡3件、区画線2件、道路標識等5件	
	原材料費	46,200円	資材(カーブミラー1枚)	
	計	15,258,980円		

項目		R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	14,172	15,259	15,259	15,259		
	合計(A)	14,172	15,259	15,259	15,259		
事業費	正規職員	業務量	0.85 人	0.85 人	0.85 人		0.85 人
		人件費	6,550	6,693	6,693		6,778
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
		人件費	0	0	0		0
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
		人件費	0	0	0	0	
小計(B)	6,550	6,693	6,693	6,778			
合計(A+B)	20,722	21,952	21,952	22,037			
市民1人当たりのコスト(円)		243	262	262	263		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。		達成	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-01-02-01	
	基本事業	基本事業なし	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	一般事務経費		建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	安心・安全で、快適な住環境整備の構築を図る		
	根拠法令等			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・システム導入業務委託(1件) 伊賀市河川台帳電子化業務委託【委託先】株式会社パスコ三重支店 ・ライトアップ業務委託料(1件) 水の日のお城ライトアップ業務委託【委託先】公益財団法人伊賀市文化都市協会 ・国(国土交通省等)への要望活動を実施しました。 ・加盟している期成同盟会等(4件)へ負担金を支出しました。 		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	旅費	129,490円		
	需用費	46,658円	消耗品費	
	委託料	2,377,650円	システム導入業務委託料 2,365,000円 ライトアップ業務委託料 12,650円	
	負担金、補助及び交付金	237,000円	期成同盟会等負担金(4件) 木津川上流直轄改修促進期成同盟会 144,000円 木津川上流砂防事業促進協議会 25,000円 近畿直轄ダム事業等促進協議会 53,000円 全国治水期成同盟会連合会 15,000円	
	計	2,790,798円		

		項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	0		0		0		0			
		地方債	0		0		0		0			
		その他	0		0		0		0			
		一般財源	617		4,852		2,791		580			
		合計(A)	617		4,852		2,791		580			
	事業費	正規職員	業務量	0.75	人	0.83	人	0.85	人	0.86		人
			人件費	5,779		6,536		6,693		6,857		
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人
			人件費	0		0		0		0		
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人
人件費	0			0		0		0				
	小計(B)	5,779		6,536		6,693		6,857				
	合計(A+B)	6,396		11,388		9,484		7,437				
	市民1人当たりのコスト(円)	75		136		113		89				

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	—	—	—	—	目標	—	—	—	—
					実績	—	—	—	—
指標化できない成果	他市町村と構成されている組織運営であるため、指標を定めることはできない。		達成	—	—	—	—		

方向	継続	課題	
	改善案		

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄管理河川改修対策事業費(大事業)01事務管理経費	決算書頁
361 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-1 危機管理	H16 年度～	R6 年度	01-08-03-02-01-01
	基本事業	③ 河川維持・改修	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	事務管理経費	担当部署	建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	内水による浸水被害箇所		
	目的	内水が起因する浸水被害の軽減		
	根拠法令等			
	内容	<p>内水による浸水被害を軽減するために排水機や樋門、また排水ポンプや排水ポンプ車を操作、点検します。</p> <p>大戸川小田排水機場外5件点検操作業務委託(点検:各施設月1回)、排水ポンプ車操作(木津川上流河川事務所との合同訓練外1回)及び点検業務を行いました。また、排水ポンプ用発動発電機付属機器類等の修繕を実施しました。令和6年度においては、6月の豪雨や10月の台風による大雨時に排水機場や排水ポンプ車両の操作を行い、対策地域内の浸水被害を防ぎました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	3,460,560円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	
	委託料	1,510,983円	排水機・樋門等点検操作委託料 1,224,300円 排水ポンプ車操作・点検業務委託料 286,683円	
	計	4,971,543円		

項目		R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	4,932	6,719	4,972	12,054
		合計(A)	4,932	6,719	4,972	12,054
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.73 人	0.80 人	0.93 人	1.18 人
		人件費	5,625	6,300	7,323	9,409
		再任用職員	業務量 0.05 人	0.05 人	0.12 人	0.24 人
		人件費	177	181	434	916
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.10 人	0.10 人
		人件費	0	0	178	217
小計(B)	5,802	6,481	7,935	10,542		
合計(A+B)	10,734	13,200	12,907	22,596		
市民1人当たりのコスト(円)		126	158	154	269	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	浸水被害対策のための施設の運転及び日常の維持管理経費のため。	達成	—	—	—	—	

方向	継続	課題
		改善案

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-02-02-01	
	基本事業	基本事業なし	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	高山ダム湖河川公園維持管理経費		建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	高山ダム湖河川公園		
	目的	高山ダム湖河川公園の維持・運営管理		
	根拠法令等	高山ダム湖公園運営管理規程		
	内容	<p>高山ダム湖河川公園施設の日常の維持・運営管理を行います。</p> <p>公園施設内のテニス場、ゲートボール場、グラウンドゴルフ場の運営管理、また、公園施設内全般の清掃・草刈等の維持管理を一括して、治田区と業務委託契約を締結し、日常の維持・運営管理を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	155,907円	光熱水費	
	委託料	1,100,000円	高山ダム湖河川公園維持管理業務委託料	
	計	1,255,907円		

		項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	1,941	1,398	1,256	1,398		
		合計(A)	1,941	1,398	1,256	1,398		
	事業費	正規職員	業務量	0.14 人	0.05 人	0.12 人		0.21 人
			人件費	1,079	394	945		1,675
		再任用職員	業務量	0.08 人	0.05 人	0.03 人		0.05 人
			人件費	282	181	109		191
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
人件費	0		0	0	0			
	小計(B)	1,361	575	1,054	1,866			
	合計(A+B)	3,302	1,973	2,310	3,264			
	市民1人当たりのコスト(円)	39	24	28	39			

※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	施設の日常の維持管理経費のため指標化はできない	達成	—	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄管理河川改修対策事業費(大事業)03直轄管理河川改修事業	決算書頁
363 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-1 危機管理	R2 年度～	R6 年度	01-08-03-02-03-01
	基本事業	③ 河川維持・改修	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	直轄管理河川改修事業	担当部署	建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	大戸川小田排水機場			
	目的	内水排水対策施設である大戸川小田排水機場の改修			
	根拠法令等				
	内容	改修工事に向け、令和2年度において基本構想を策定し、令和3年度においては大戸川小田排水機場の改修事業の実施設計を行い、令和4年度より令和6年度末まで工事を実施しました。			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	使用料及び賃借料	237,600円	土地建物借上料		
	工事請負費	323,676,900円	ポンプ場設備更新工事費		
			大戸川小田排水機場改修工事(土木) 97,735,500円		
			大戸川小田排水機場改修工事(機械設備) 225,941,400円		
	計	323,914,500円			

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0		0		0		0		【特定財源】 緊急自然災害防止対策事業債
	地方債	42,400		283,600		323,915		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	70		8,929		0		0		
	合計(A)	42,470		292,529		323,915		0		
人件費	正規職員	業務量	0.90 人	0.94 人	0.90 人	0.00 人				
		人件費	6,935	7,402	7,087	0				
	再任用職員	業務量	0.08 人	0.00 人	0.03 人	0.00 人				
		人件費	282	0	109	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	7,217	7,402	7,196	0						
合計(A+B)	49,687	299,931	331,111	0						
市民1人当たりのコスト(円)		583	3,569	3,939	0				※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業進捗率	大戸川小田排水機場改修事業に係る進捗率	%	目標	6.0	33.1	43.1	100
				実績	6.0	33.1	43.1	100
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%	100%	

方向	完了	課題	
		改善案	

基本情報		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	2-1	危機管理	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-03-01-02	
	基本事業	③	河川維持・改修	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	矢田川分流堰操作業務経費			建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	矢田川分流堰			
	目的	河川氾濫による浸水被害の軽減			
	根拠法令等				
	内容	<p>一級河川矢田川の河川氾濫による浸水被害を軽減を行うべく、矢田川分流堰の操作並びに点検を行います。</p> <p>一級河川矢田川分流堰の操作・点検業務(豪雨時の河川水位上昇による操作、点検業務毎月1回)を行いました。 矢田川分流堰操作等業務委託 伊賀市大東区</p>			
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要		
	需用費	186,000円	消耗品費、光熱水費		
	委託料	179,000円	矢田川分流堰維持管理業務委託料		
	計	365,000円			

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 矢田川分流堰維持管理及び操作業務委託金 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
		国県支出金	350	352	365	352		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	350	352	365	352			
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.07 人	0.05 人	0.13 人		0.17 人
			人件費	540	394	1,024		1,356
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.03 人		0.05 人
			人件費	0	0	109		191
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)		540	394	1,133	1,547			
合計(A+B)		890	746	1,498	1,899			
市民1人当たりのコスト(円)		11	9	18	23			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	浸水被害対策のための施設の運転及び日常の維持管理経費の為。		達成	—	—	—	—

方向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-1 危機管理	H16 年度～	R6 年度	01-08-03-03-01-03
	基本事業	③ 河川維持・改修	担当部署		部・課名等
	事務事業名	青山工業団地調整池管理業務経費			建設部建設管理課
					課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	青山工業団地調整池		
	目的	調整池を保全し、機能を十分に発揮させる。		
	根拠法令等	青山工業団地調整池等管理基金の設置、管理及び処分に関する条例		
	内容	調整池周辺の草刈り業務を実施。 青山工業団地調整池除草業務委託【委託先】株式会社西山組		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	299,200円	青山工業団地調整池除草業務委託	
	積立金	11,128円	青山工業団地調整池等管理基金積立金	
	計	310,328円		

	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0		0		0		0	【財産収入】 青山工業団地調整池等管理基金利子 【繰入金】 青山工業団地調整池等管理基金繰入金
		地方債	0		0		0		0	
		その他	309		410		310		416	
		一般財源	0		0		0		0	
		合計(A)	309		410		310		416	
事業費	人件費	正規職員	0.05	人	0.07	人	0.05	人	0.10	人
		人件費	386		552		394		798	
	再任用職員	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人	
	人件費	0		0		0		0		
	会計年度任用職員	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人	
	人件費	0		0		0		0		
	小計(B)	386		552		394		798		
	合計(A+B)	695		962		704		1,214		
	市民1人当たりのコスト(円)	9		12		9		15	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	施設の日常の維持管理経費のため指標化はできない。		達成	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-03-01-05	
	基本事業	基本事業なし	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	調整池管理業務経費		建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市管理調整池(30箇所)		
	目的	市管理調整池の維持管理		
	根拠法令等			
	内容	<p>市管理調整池(30箇所)の日常の維持管理を行いました。</p> <p>維持業務としては、施設巡視点検・草刈りを実施、また、施設内フェンスの修繕を行いました。 上野地内調整池草刈清掃業務委託【委託先】公益社団法人伊賀市シルバー人材センター 刈草処分費【委託先】株式会社大栄工業 上野地内調整池巡視点検業務委託【委託先】株式会社山村土建 大山田工業団地調整池管理業務委託【委託先】炊村区 大沢団地調整池管理業務委託【委託先】合戦川上流管理組合</p> <p>施設の長寿命化対策に向け、的確な修繕実施計画を検討・策定する時期に差し掛かっています。施設診断業務を予算化し、診断結果に即した修繕計画を策定し、修繕予算の確保に努め、必要な修繕を実施する必要があります。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	321,860円	消耗品費、修繕料	
	役務費	307,120円	賠償責任保険料	
	委託料	1,242,712円	調整池管理業務委託料	
			上野地内調整池草刈清掃業務委託	695,200円
			刈草処分費	89,012円
			上野地内調整池巡視点検業務委託	258,500円
			大山田工業団地調整池管理業務委託	90,000円
			大沢団地調整池管理業務委託	110,000円
	計	1,871,692円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	1,412	0	0	0		
		一般財源	1,012	2,355	1,872	2,455		
	合計(A)	2,424	2,355	1,872	2,455			
	事業費	正規職員	業務量	0.17 人	0.17 人	0.12 人		0.14 人
			人件費	1,310	1,339	945		1,117
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.01 人
			人件費	0	0	0		39
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.10 人	0.05 人		
	人件費	0	0	178	109			
小計(B)		1,310	1,339	1,123	1,265			
合計(A+B)		3,734	3,694	2,995	3,720			
市民1人当たりのコスト(円)		44	44	36	45			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	施設の日常の維持管理経費のため、指標化はできない。	達成		—	—	—	—

方向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	2-1 危機管理	H26 年度～ R6 年度	01-08-03-03-02-01	
	基本事業	③ 河川維持・改修	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	準用河川等整備事業		建設部道路河川課	課長 川部 正章 0595-22-9726

事務事業の概要	対象	市が所管する河川		
	目的	降雨時における浸水被害を解消する		
	根拠法令等			
	内容	洪水による氾濫防止や河川環境の保全を図ります。 令和6年度は、河川浚渫工事16件を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	696,542円	燃料費17地区、修繕料4件	
	委託料	18,352,850円	準用河川渋田川用地測量業務委託 16,322,000円 オオサンショウウオ保護調査業務委託5件 1,485,000円 その他業務委託3件 545,850円	
	工事請負費	63,525,800円	準用河川河内谷川浚渫工事 15,291,100円 準用河川前川浚渫工事 10,575,400円 準用河川春泰川浚渫工事 9,278,500円 準用河川古野川浚渫工事 8,167,500円 その他浚渫工事12件 20,213,300円	
	計	82,575,192円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		緊急浚渫推進事業債
		地方債	59,800	226,100	64,500	292,400		緊急自然災害防止対策事業債
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	3,044	2,122	18,075	2,096		
		合計(A)	62,844	228,222	82,575	294,496		
	事業費	正規職員	業務量	1.62 人	1.62 人	1.62 人	1.62 人	
			人件費	12,483	12,756	12,756	12,917	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0		
	小計(B)	12,483	12,756	12,756	12,917			
	合計(A+B)	75,327	240,978	95,331	307,413			
	市民1人当たりのコスト(円)	883	2,867	1,135	3,658			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	浚渫実施率	実施箇所数/全数	%	目標	30.5	52.5	74.6
				実績	30.5	52.5	74.6
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%	100%

方向	改善課題	毎年多量に排出される浚渫土砂の処分先の確保に苦慮しています。
	改善案	関係地区に協力を得て、地区内で処分可能な場所を提供していただきます。

整理番号
368 -

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)04ダム関連整備費(大事業)02ダム周辺整備事業

決算書頁
281

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H22 年度～ R6 年度	01-08-03-04-02-01
	基本事業	① 森林環境の整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	生産管理用道路整備事業	建設部建設管理課	評価責任者・連絡先 課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	川上ダム湖面周辺の残地森林の所有者		
	目的	ダム水没地周辺の山林管理用道路を開設する。		
	根拠法令等	水源地域対策特別措置法		
	内容	<p>川上ダム周辺整備事業基金の管理用務 ※令和5年度、令和6年度は生産管理用道路整備事業の財源である当基金の管理業務を建設管理課で実施しました。</p> <p>生産管理用道路測量設計業務委託 令和6年度生産管理用道路測量業務委託【委託先】株式会社共同技術コンサルタント</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	84,673円	消耗品費	
	委託料	27,417,500円	生産管理用道路測量設計業務委託	
	積立金	1,014,656円	令和6年度生産管理用道路測量業務委託 17,047,800円 令和6年度生産管理用道路詳細設計業務委託 10,369,700円 川上ダム周辺整備事業基金利子積立	
	計	28,516,829円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	【財産収入】 川上ダム周辺整備事業基金利子
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	852	867	1,015	19,987				
		一般財源	0	0	27,502	0				
		合計(A)	852	867	28,517	19,987				
	人件費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.33 人	0.33 人			
			人件費	155	158	2,599	2,632			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
	人件費	0	0	0	0					
	小計(B)	155	158	2,599	2,632					
	合計(A+B)	1,007	1,025	31,116	22,619					
	市民1人当たりのコスト(円)	12	13	371	270					

※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	整備進捗率	供用開始する林道の延長	m	目標	241	241	—	—
				実績	0	241	—	—
指標化できない成果	通常の基金管理用務のため。	達成	0%	100%	—	—		

方向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-01-02-01	
	基本事業	基本事業なし	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	一般事務経費		建設部都市計画課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	伊賀市全域		
	目的	都市計画法等に基づき、都市の健全な発展と秩序ある整備を進める		
	根拠法令等	都市計画法、伊賀市の適正な土地利用に関する条例		
	内容	<p>都市計画法等に基づき、地域ビジョンに沿った土地利用の規制誘導をすることにより、都市の健全な発展と秩序ある整備を進めました。2～3年ごとに三重県と交互実施している宅建業者を対象とした宅地建物取引における人権問題実態調査を実施し、今後の啓発活動の内容について検討を行いました。</p> <p>令和6年度実績 土地利用審議会委員委嘱 5名 土地利用審議会の開催 3回</p> <p>[参考] 土地利用条例承認件数 232件</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	84,000円	土地利用審議会委員報酬	
	委託料	445,464円	人権問題実態調査業務委託料 135,168円 委託先:公益財団法人反差別・人権研究所みえ	
			電算機保守点検委託料 10,296円	
			さくらのまち伊賀推進事業委託料 300,000円 委託先:伊賀市さくらの会	
	負担金、補助及び交付金	133,000円	都市計画協会負担金 123,000円	
			日本さくらの会賛助会費 10,000円	
	積立金	827,241円	公共施設等整備基金積立金利子	
	その他事務経費	365,778円	旅費、消耗品費、通信運搬費	
	計	1,855,483円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		行政財産目的外使用料
		地方債	0	0	0	0		市有土地建物貸付収入
		その他	1,657	1,040	1,855	1,478		公共施設等整備基金利子
		一般財源	0	1,575	0	764		物品等売払代金 複写料
	合計(A)	1,657	2,615	1,855	2,242			
	事業費 人件費	正規職員	業務量	4.91 人	4.39 人	4.30 人	4.35 人	
			人件費	37,832	34,567	33,859	34,683	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
会計年度任用職員		業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人		
	人件費	1,679	1,776	1,776	2,161			
	小計(B)		39,511	36,343	35,635	36,844		
	合計(A+B)		41,168	38,958	37,490	39,086		
	市民1人当たりのコスト(円)		483	464	446	465	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	数値で評価できない事業である為	達成		—	—	—	—

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号
370 -

決算書頁
283

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)03事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～	R6 年度	01-08-04-01-03-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	土地利用等規制対策経費	担当部署	建設部都市計画課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	伊賀市全域		
	目的	国土利用計画法に基づく届出等の受付等を進める		
	根拠法令等	国土利用計画法		
	内容	国土利用計画法に基づく届出の受付等を行いました。 令和6年度実績 受付件数 35件		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	需用費		28,000円	消耗品費
	計		28,000円	

		項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	18	16	28	18	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	18	16	28	18		
	事業費	正規職員	業務量	0.23 人	0.23 人	0.24 人		0.22 人
			人件費	1,773	1,812	1,890		1,755
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
人件費	0	0	0	0				
	小計(B)	1,773	1,812	1,890	1,755			
	合計(A+B)	1,791	1,828	1,918	1,773			
	市民1人当たりのコスト(円)	21	22	23	22			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	数値で評価できない事業である為	達成	—	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)06建築関係事務経費	決算書頁
371 -		283

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-01-06-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	建築関係事務経費	担当部署 建設部建築課	課長 榮井 隆 0595-22-9735

事務事業の概要	対象	建築物																																			
	目的	法令に基づく事務処理をスムーズにするため、提出されたら速やかに審査に取り掛かり、厳格な審査を行う。 統一的な建築営繕業務を行うため、各種法令研修への参加および営繕積算システム(RIBC2)の構築を行う。																																			
	根拠法令等	建築基準法(第6条、第7条、第7条の3、第12条第5項、第43条ほか)、長期優良住宅の普及の促進に関する法律(第5条)(8条)(10条)、都市低炭素化促進法(第53条)、建設リサイクル法(第10条他)、建設業法、公共工事積算基準																																			
	内容	【建築指導審査係関係業務 各種申請等受理件数】建築基準法等に基づく特定行政庁事務処理を行いました。 建築確認申請(工作物を含む。)(計画通知・計画変更を含む。)(17件 完了検査申請(工作物を含む。)(計画通知を含む。)(13件 長期優良住宅認定申請(8条、10条を含む) 49件 低炭素認定申請 1件 建設リサイクル法届出(通知書を含む。)(92件ほか 【建築営繕業務】市有建築物の営繕業務を行いました。 工事発注件数 18件 業務委託発注件数 7件 予算要求用の設計書等を作成しました。 工事費予算設計書 40件 業務委託費予算設計書 22件																																			
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費・需用費</td> <td>551,965円</td> <td>研修参加、行政会議参加、追録費用、書籍費、消耗品費</td> </tr> <tr> <td>役務費(通信運搬費)</td> <td>2,200円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(賠償責任保険料)</td> <td>378,250円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料(システム保守委託料)</td> <td>251,900円</td> <td>指定道路台帳保守委託料</td> </tr> <tr> <td>(情報機器設定業務委託料)</td> <td>167,200円</td> <td>情報機器設定業務委託料</td> </tr> <tr> <td>(指定道路台帳更新業務委託料)</td> <td>1,523,500円</td> <td>指定道路台帳更新業務委託料(委託先:株)バスコ</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料(システム等使用料)</td> <td>1,562,220円</td> <td>RIBC2営繕積算システム利用料</td> </tr> <tr> <td>(電算機借上料)</td> <td>23,540円</td> <td>道路台帳等システム機器賃借</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>1,334,300円</td> <td>積算単価データ購入費(経済調査会、建設物価調査会)</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>136,741円</td> <td>研修会参加負担金等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,931,816円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	旅費・需用費	551,965円	研修参加、行政会議参加、追録費用、書籍費、消耗品費	役務費(通信運搬費)	2,200円		(賠償責任保険料)	378,250円		委託料(システム保守委託料)	251,900円	指定道路台帳保守委託料	(情報機器設定業務委託料)	167,200円	情報機器設定業務委託料	(指定道路台帳更新業務委託料)	1,523,500円	指定道路台帳更新業務委託料(委託先:株)バスコ	使用料及び賃借料(システム等使用料)	1,562,220円	RIBC2営繕積算システム利用料	(電算機借上料)	23,540円	道路台帳等システム機器賃借	備品購入費	1,334,300円	積算単価データ購入費(経済調査会、建設物価調査会)	負担金	136,741円	研修会参加負担金等	計	5,931,816円	
経費	金額	摘要																																			
旅費・需用費	551,965円	研修参加、行政会議参加、追録費用、書籍費、消耗品費																																			
役務費(通信運搬費)	2,200円																																				
(賠償責任保険料)	378,250円																																				
委託料(システム保守委託料)	251,900円	指定道路台帳保守委託料																																			
(情報機器設定業務委託料)	167,200円	情報機器設定業務委託料																																			
(指定道路台帳更新業務委託料)	1,523,500円	指定道路台帳更新業務委託料(委託先:株)バスコ																																			
使用料及び賃借料(システム等使用料)	1,562,220円	RIBC2営繕積算システム利用料																																			
(電算機借上料)	23,540円	道路台帳等システム機器賃借																																			
備品購入費	1,334,300円	積算単価データ購入費(経済調査会、建設物価調査会)																																			
負担金	136,741円	研修会参加負担金等																																			
計	5,931,816円																																				

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	51	51	62	0	(国県費)	
		地方債	0	0	0	0	建築基準法施行事務取扱交付金、建築動態統計調査委託金	
		その他	1,298	1,094	1,622	0	(その他)	
		一般財源	4,384	5,801	4,248	0	建築確認申請手数料、複写料 ほか	
	合計(A)	5,733	6,946	5,932	0	R7年度当初予算については		
	事業費	正規職員	業務量	9.00 人	9.00 人	8.33 人	0.00 人	【01-08-04-01-06-02 建築営繕関係事務経費】
			人件費	69,345	70,866	65,591	0	直接事業費 2,644千円
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	【01-08-04-01-06-03 建築審査関係事務経費】
			人件費	0	0	0	0	直接事業費 4,255千円
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.42 人	0.00 人	に分けて計上しています。	
人件費	0	0	746	0				
小計(B)	69,345	70,866	66,337	0				
合計(A+B)	75,078	77,812	72,269	0	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。			
市民1人当たりのコスト(円)	880	926	860	0				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	建築確認等審査期間	建築確認等の平均審査日数(確認、許可、認定あるいは不備通知までの処理日数)(年度毎)	日	目標	—	7	7
				実績	—	7.85	8.07
指標化できない成果	—	達成	—	89.17%	86.7%	100%超	

方向	充実	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築確認等の窓口や電話対応が集中し、職員が対応しきれないことから窓口対応で待ち時間が発生します。 ○建築基準法関係の知識向上および情報共有が必要です。 ○公共施設の長寿命化・省エネルギー化を図り、災害時でも事業継続や早期復旧ができるような設計手法を確立・提案する必要があります。 ○FM(ファシリティマネジメント)・LCM(ライフサイクルマネジメント)・BCP(事業継続計画)といった考え方を施設の営繕設計に採り入れる必要があります。
	改善案	<ul style="list-style-type: none"> ○窓口対応でお客様の待ち時間を極力減らすよう職員間で連携を図ります。 ○法改正対応への実務体制強化を図ります。 ○各施設の営繕方法や仕様についてデータベースを作成し、係内で共有することにより、それらの標準化・統一化を図ります。 ○FM・LCM・BCPを念頭に営繕設計することにより、施設の省エネルギー化、長寿命化、強靱化、生涯費用の削減を目指します。 	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)07都市計画調査策定等事業	決算書頁
372 -		283

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-1 都市政策	R元 年度～	R6 年度	01-08-04-01-07-01
	基本事業	① コンパクトシティ・プラス・ネットワーク	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	都市計画調査策定等事業	担当部署	建設部都市計画課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	伊賀市全域		
	目的	伊賀市の都市計画に関わる計画等の策定を行う		
	根拠法令等	都市計画法、都市再生特別措置法		
	内容	三重県都市計画基礎調査(市町調査)を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	6,605,500円	都市計画基礎調査業務委託料 委託先:(株)パスコ	
	計	6,605,500円		

項目		R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	502	6,611	6,606	4,298		
	合計(A)	502	6,611	6,606	4,298		
事業費	正規職員	業務量	0.88 人	1.10 人	1.10 人		0.73 人
		人件費	6,781	8,662	8,662		5,821
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
		人件費	0	0	0		0
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
		人件費	0	0	0	0	
小計(B)		6,781	8,662	8,662	5,821		
合計(A+B)		7,283	15,273	15,268	10,119		
市民1人当たりのコスト(円)		86	182	182	121		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業進捗率	計画等の策定に関わる予算に対する執行額の割合	%	目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	100
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%	100%	

方向	改善	課題	伊賀市都市マスタープラン、伊賀市の適正な土地利用に関する条例並びに伊賀市立地適正化計画の内容について、引き続き様々な手法を用いて周知を行いながら、コンパクトシティ実現に向けた理解を深めることが課題です。
	改善案		各種計画等の内容について、引き続き住民自治協議会や宅建業者等に対して周知を行います。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-2 住環境整備	H27 年度～ R6 年度	01-08-04-01-16-01
	基本事業	③ 空き家対策	担当部署	部・課名等
	事務事業名	空家等対策推進事業	住宅課空き家対策室	評価責任者・連絡先 室長 田中 広巳 0595-22-9676

事務事業の概要	対象	空き家所有者及び相続人等関係者、地域住民、観光客、起業・創業者																																	
	目的	空家等対策計画に基づき計画を推進する																																	
	根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、第2次伊賀市空き家対策計画(計画期間令和3～7年度)																																	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・協定締結団体数 12団体 ・空家等約2,200戸(うち特定空家等 約70戸 管理不全空家等 約100戸) ・空家等対策協議会(2回開催) ・行政代執行の執行(八幡町) ・空家等管理活用支援法人の指定(2団体) ・空家等管理活用支援法人による空き家現地確認調査業務委託21件(全国空き家アドバイザー協議会 三重県伊賀支部) ・空き家バンク事業 物件登録数 延べ581件、利用登録者数 延べ2,190世帯、成約世帯 257世帯 ・空き家バンクの物件動画(YouTube、360°撮影)撮影・編集の外部委託(デジタル工房株式会社) ・ワンストップ空き家相談会(1回開催延べ30組) ※2月開催は雪のため中止(中止を知らず来庁され対応した相談者 10組) ・特定空家除却費補助金7件の交付 ・財産管理人申立1件(所在地 平野中川原) ・過年度国県支出金精算返還金 令和4年度に実施した略式代執行において、財産管理人を申立て土地の売却が成立したことにより解体費用が弁償されたことから、当時解体費用に充当していた国及び県の補助金の返還 																																		
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き家等対策協議会委員報酬</td> <td>132,000円</td> <td>7/25・2/6開催分(6,000円×22人)</td> </tr> <tr> <td>謝礼</td> <td>80,000円</td> <td>7/13ワンストップ空き家相談会相談員謝礼(10,000円×8人)</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>76,481円</td> <td>協議会委員旅費</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>2,752,048円</td> <td>相続人等調査業務委託料、空き家等管理活用支援法人業務委託 空き家バンクHP保守点検業務委託料・動画撮影編集委託料</td> </tr> <tr> <td>建物除却工事費</td> <td>9,983,600円</td> <td>八幡町行政代執行工事費</td> </tr> <tr> <td>伊賀市空家再生等推進事業補助金</td> <td>4,458,000円</td> <td>特定空家除却費補助金</td> </tr> <tr> <td>裁判所予納金</td> <td>500,000円</td> <td>所有者不明土地及び建物管理人申立予納金</td> </tr> <tr> <td>過年度国県支出金精算返還金</td> <td>1,879,000円</td> <td>内訳 国 1,629,000円 県250,000円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>754,452円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,615,581円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	空き家等対策協議会委員報酬	132,000円	7/25・2/6開催分(6,000円×22人)	謝礼	80,000円	7/13ワンストップ空き家相談会相談員謝礼(10,000円×8人)	旅費	76,481円	協議会委員旅費	委託料	2,752,048円	相続人等調査業務委託料、空き家等管理活用支援法人業務委託 空き家バンクHP保守点検業務委託料・動画撮影編集委託料	建物除却工事費	9,983,600円	八幡町行政代執行工事費	伊賀市空家再生等推進事業補助金	4,458,000円	特定空家除却費補助金	裁判所予納金	500,000円	所有者不明土地及び建物管理人申立予納金	過年度国県支出金精算返還金	1,879,000円	内訳 国 1,629,000円 県250,000円	その他	754,452円		計	20,615,581円		
経費	金額	摘要																																	
空き家等対策協議会委員報酬	132,000円	7/25・2/6開催分(6,000円×22人)																																	
謝礼	80,000円	7/13ワンストップ空き家相談会相談員謝礼(10,000円×8人)																																	
旅費	76,481円	協議会委員旅費																																	
委託料	2,752,048円	相続人等調査業務委託料、空き家等管理活用支援法人業務委託 空き家バンクHP保守点検業務委託料・動画撮影編集委託料																																	
建物除却工事費	9,983,600円	八幡町行政代執行工事費																																	
伊賀市空家再生等推進事業補助金	4,458,000円	特定空家除却費補助金																																	
裁判所予納金	500,000円	所有者不明土地及び建物管理人申立予納金																																	
過年度国県支出金精算返還金	1,879,000円	内訳 国 1,629,000円 県250,000円																																	
その他	754,452円																																		
計	20,615,581円																																		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接事業費	国県支出金	16,455		20,126		6,201		11,081		空家等対策総合支援事業補助金 市有土地建物賃付収入 ほか
	地方債	0		0		0		0		
	その他	1,282		3,008		10,437		2,340		
	一般財源	16,145		21,000		3,978		17,576		
	合計(A)	33,882		44,134		20,616		30,997		
事業費	正規職員	業務量	4.00 人	4.00 人	4.00 人	4.00 人	4.00 人	4.00 人		
		人件費	30,820	31,496	31,496	31,496	31,892			
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0	0			
	会計年度任用職員	業務量	3.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人	2.00 人			
		人件費	5,037	5,328	5,328	4,322				
小計(B)	35,857	36,824	36,824	36,214						
合計(A+B)	69,739	80,958	57,440	67,211		※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。				
市民1人当たりのコスト(円)	818	964	684	800						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	空き家バンクの成約数	空き家を活用した数	件	目標	30	30	40	40
				実績	31	39	36	38
指標化できない成果	—	達成	103%	130%	90%	95%		

方向	充実	課題	人口減少社会が進む中、各種施策を実施しても管理不全空家が増加することが見込まれます。そのような状況では、所有者不明のケースや対応困難な事例が増える可能性があります。
	改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・生前から家屋等に対する意識の醸成を行うべく連携団体と空き家相談会を開催するなど空き家に対する啓発活動を推進します。 ・空き家バンク事業に関しては成約件数が40件弱で推移していることから、更なる成約数の増高に向け空き家バンク制度の見直しを行い流通を推進します。 ・空き家になり所有者不存空家に対しては、財産管理人制度を活用するなど空き家の適性管理に向けた取り組みを推進します。 ・古民家再生活用事業では、連携協定団体と協力しつつ歴史的資源を活用する事業として継続して推進します。 	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	4-2 住環境整備	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-01-18-01	
	基本事業	① 木造住宅等の耐震化	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	木造住宅等耐震支援事業		建設部住宅課	課長 前川 浩哉 0595-22-9737

事務事業の概要	対象	市内にある旧耐震基準で建設された3階建て以下の木造住宅等		
	目的	旧耐震基準の木造住宅等の耐震化支援を行うことで地震による被害や避難路の通行障害を防ぎ、地震に強いまちづくりを目指す。		
	根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、三重県建築物耐震改修促進計画、伊賀市建築物耐震改修促進計画		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断普及啓発【パネル展示 1回、出前講座 2回、戸別訪問 107戸】 ・木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託 75件【委託先：三重県木造住宅耐震促進協議会】 ・木造住宅耐震補強設計事業 5件 ・木造住宅耐震補強事業 4件 ・リフォーム事業 4件 ・災害時要援護者宅家具固定事業 12件 ・ブロック塀等撤去費補助事業 7件 ・木造住宅除却補助事業 4件 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	3,540,000円	木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託	
	負担金、補助及び交付金	8,362,000円	耐震補強設計・改修事業費補助金ほか	
	その他経費	49,830円	消耗品費	
	計	11,951,830円		

		項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	2,935	8,176	8,685	13,813	社会資本整備総合交付金 地域減災力強化推進補助金 住宅・建築物耐震改修等事業費補助金
		地方債	0	0	0	0	
		その他	117	0	0	0	
		一般財源	1,172	4,037	3,267	7,137	
		合計(A)	4,224	12,213	11,952	20,950	
	事業費	正規職員	業務量	0.20 人	0.28 人	0.28 人	0.29 人
			人件費	1,541	2,205	2,205	2,313
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人
			人件費	0	362	362	382
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.01 人	0.00 人
人件費	0		0	18	0		
	小計(B)	1,541	2,567	2,585	2,695		
	合計(A+B)	5,765	14,780	14,537	23,645		
	市民1人当たりのコスト(円)	68	176	173	282	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	耐震診断実施率	耐震診断件数/耐震診断目標件数	%	目標	100	100	100	100
				実績	66.7	110	113.3	214.3
指標化できない成果	—		達成	66.7%	110%	113.3%	214.3%	

方向	改善	課題	耐震診断で倒壊する可能性が高いと判定されても耐震補強工事費が高額で施工をためらう声がある他、補助金を活用した耐震性のない木造住宅の除却が進んでいない状況です。
	改善案	住宅の耐震化率の向上のため、今後も継続した広報活動(年2回の戸別訪問、パネル展示、広報紙及びホームページ掲載等)により耐震に関する住民意識の向上を図るとともに、市内の建築事務所等へ周知啓発を行います。また、耐震診断の対象者に対し、耐震補強工事や耐震シェルター、空き家除却工事の補助制度の案内を行ってまいります。	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁
375 -		285

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-1 都市政策	H20 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-01
	基本事業	② 良好な景観形成	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	市街地整備推進事業費	建設部都市計画課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	伊賀市全域		
	目的	伊賀市景観計画で定める基準に適合させる		
	根拠法令等	景観法		
	内容	<p>建築行為に対し、景観計画に基づいて行為の届出を求めるとともに、景観形成基準への適合審査を行い、必要に応じて景観アドバイザーの意見を求めながら景観の保全・形成を進めました。</p> <p>令和6年度実績 景観審議会委員委嘱 10名(うち5名は専門部会委員) 景観審議会の開催 1回 専門部会の開催 5回</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	198,000円	景観審議会委員報酬	
	報償費	12,592円	景観アドバイザー謝礼	
	旅費	110,838円		
	需用費	9,007円	消耗品費	
	計	330,437円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	6,391	0	※令和7年度より街なみ環境整備事業と一本化
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	2,500	0	
	一般財源	160	181	330	330	330	330	7,180	0	
	合計(A)	160	181	330	330	330	330	16,071	0	
事業費	正規職員	業務量	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	1.85 人	0	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
		人件費	5,779	5,906	5,906	5,906	5,906	14,751	0	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
小計(B)	5,779	5,906	5,906	5,906	5,906	5,906	14,751	0		
合計(A+B)	5,939	6,087	6,236	6,236	6,236	6,236	30,822	0		
市民1人当たりのコスト(円)		70	73	75	75	75	75	367	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	適合率	届出行為の景観形成基準への適合率	%	目標	90	90	90	90
				実績	87	80	82	83
指標化できない成果	—	—	達成	97%	89%	91%	92%	

方向	改善	課題	城下町風景をはじめとする景観の保全・形成の必要性に関する建築主等の理解が重要であることから、幅広い世代に対して景観に関する意識向上を図ることが課題です。
	改善案	「うえのまち風景づくり協議会」等の活動を若者会議のメンバーと継続して行いながら、効率的な市民啓発等の実施方法について検討します。	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁
376 -		285

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-4 中心市街地活性化	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-01
	基本事業	① 市街地整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	市街地整備推進事業費	産業振興部中心市街地推進課	評価責任者・連絡先 課長 森口 浩司 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	まちめぐりの拠点・交流施設の利用を促進し、にぎわいの拠点づくりを行う。		
	根拠法令等	赤井家住宅の設置及び管理に関する条例		
	内容	<p>○まちめぐりの拠点・交流施設として整備した国登録有形文化財である武家屋敷「赤井家住宅」について、指定管理者制度による管理を行いました。 令和6年度《施設利用状況》施設利用者3,991人/年、施設見学を含む総入館者16,453人/年</p> <p>○経年劣化により劣化がみられる蔵の板壁の修繕を行いました。</p> <p>○次期指定管理の導入検討をおこない、指定管理期間を令和7年度～10年度の4か年としました。また、指定管理者選定事務を行い、選定委員会にて候補者の選定、議会での承認を経て基本協定を締結しました。</p> <p>○伊賀市文化都市協会を指定管理者として選定し令和7年度～10年度の指定管理を行います。その後他の文化財施設と一体となった指定管理を行う予定です。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	修繕料	199,100円	赤井家住宅修繕料/高田工務店	
	委託料	7,074,350円	赤井家住宅指定管理料/伊賀市文化都市協会	
	計	7,273,450円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	7,168		24,636		7,274		7,247		
		合計(A)	7,168		24,636		7,274		7,247		
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人	0.30 人	0.20 人	0.10 人				
			人件費	7,705	2,363	1,575	798				
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
			人件費	0	0	0	0				
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
	人件費	0	0	0	0						
	小計(B)	7,705	2,363	1,575	798						
	合計(A+B)	14,873	26,999	8,849	8,045						
	市民1人当たりのコスト(円)	175	322	106	96						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	赤井家住宅利用者数	施設の見学者、貸室利用者を含む利用者の総数	年/人	目標	10,400	10,600	10,800	11,000
				実績	10,533	16,680	15,568	16,453
指標化できない成果	—	—	達成	101%	157%	144%	150%	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁	285
377 -			

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-1 都市政策	H20 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-02
	基本事業	② 良好な景観形成	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	街なみ環境整備事業	建設部都市計画課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	城下町重点風景地区内等において、建築行為等を行う建築主		
	目的	景観計画で定める重点風景区域における建築行為(修繕含む)等について、景観形成基準に適合させる		
	根拠法令等	景観法		
	内容	<p>景観計画で定める重点風景地区において、景観まちづくりに寄与する建築行為等を行う建築主に対し、景観の保全・形成に要した建築費用の一部を助成しました。</p> <p>ふるさと風景づくり助成金 交付件数3件(内1件は令和7年度に繰越)、相談件数4件</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	18,592円	景観アドバイザー謝礼	
	需用費	29,624円	消耗品費	
	負担金、補助金及び交付金	621,000円	ふるさと風景づくり助成金	
	計	669,216円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
事業費	直接事業費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	※ふるさと風景づくり助成金交付件数3件の内、1件(595,000円)は令和7年度に繰越 ※当該事業については令和7年度より市街地整備推進事業と一本化するため「R7年度当初予算」は記載していません。 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	1,000	2,500	621	0	0	0	0	
		一般財源	38	75	48	0	0	0	0	
		合計(A)	1,038	2,575	669	0	0	0	0	
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	7,705	7,874	7,874	0	0	0	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費	0	0	0	0	0	0	0			
小計(B)	7,705	7,874	7,874	0	0	0	0			
合計(A+B)	8,743	10,449	8,543	0	0	0	0			
市民1人当たりのコスト(円)	103	125	102	0	0	0	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	数値で評価できない事業である為	達成	—	—	—	—	

方向	統合	<p>現在指定されている重点風景地区については、計画策定当時と比べてそぐわない部分があり、区域設定の見直しが必要です。</p> <p>また、家屋の新築・改築等において、景観形成基準に適合させるためには、少なからず私権が制限されることとなり、それに伴い施工主が私費等の負担を強いられたり、適合基準についての理解が得られていない現状があることから、良好な景観形成に向けた基準の見直し及び住民の景観行政に対する意識を高める必要があります。</p>
	改善案	<p>令和7年度より景観計画改定業務に着手し、重点風景地区の設定及び景観形成基準の見直し等を行います。</p> <p>また、景観計画やふるさと風景づくり助成金制度についても住民等への周知を図ります。</p>

整理番号 378 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 285
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-4 中心市街地活性化	H20 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-03
	基本事業	② 中心市街地の商業の活性化	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	中心市街地活性化事業	産業振興部中心市街地推進課	課長 森口 浩司 0595-22-9825

対象	市民、商業者、起業希望者、関係団体、来街者、観光客
目的	関係団体等と協働で空き店舗の解消に取り組み、地域経済の再生による中心市街地の活性化、にぎわいの創出を推進する。

根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律
-------	-----------------

内容	<p>○令和2年3月に策定した第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画に位置付けた『空き店舗情報システム整備及びコンサルタント事業』に基づき、令和3年度から継続し、中心市街地活性化協議会(事務局:株式会社まちづくり伊賀上野)と協働して中心市街地の空き店舗物件の実態調査、所有者への活用意向調査、個別ヒアリング等を実施しました。令和6年度は2件の空き店舗の物件情報を協議会ホームページにて公開し、1件の活用がありました。</p> <p>○伊賀市中心市街地活性化協議会(法定協)、伊賀市中心市街地活性化推進会議(庁内)において、第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画に位置付けた各事業の進捗管理を行いました。</p> <p>《目標指標達成状況》人口の社会増減(累計)77.4%、空き店舗等活用件数(累計)90.6%、観光交流施設の利用者数(単年)64.4%、歩行者・自転車通行量(単年)68.7%、イベント参加者数(単年)55.8%</p> <p>○目標指標(歩行者・自転車通行量)把握のため、通行量調査業務を実施しました。(夏季:9/21、春季:3/22)</p> <p>○「ライトアップイベントお城のまわり」を開催し、2日間で18,000人の来場がありました。</p> <p>○令和5年度に引き続いて第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画の策定を進め、伊賀市中心市街地活性化基本計画策定委員会を4回開催し、議論を行いました。策定委員会からの答申を経て内閣府への認定申請を行い、令和7年3月14日付で内閣総理大臣の認定を受け、第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画を策定しました。</p>
----	--

事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	報酬	342,000円	中心市街地活性化基本計画策定委員会委員15名
	旅費	271,021円	中心市街地活性化基本計画策定委員会委員15名
	通行量調査業務委託料	456,382円	委託先:シルバー人材センター、年2回
	ライトアップ実施委員会委託料	3,202,419円	委託先:お城の周りライトアップイベント実施委員会
	中心市街地活性化基本計画策定支援業務委託料	14,630,000円	委託先:日本工営株式会社 三重事務所
	負担金	1,900,000円	中心市街地活性化協議会運営活動費負担金
	システム等使用料	2,200,000円	支出先:中心市街地活性化協議会
	消耗品費	330,818円	Datawise Area Marketer(人流分析ツール) 事務用品
	計	23,332,640円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R5年度決算	R6年度当初予算	R6年度決算	R7年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国庫支出金	0	0	50	1,100	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	2,973	3,236	3,202	0	
		一般財源	2,975	20,885	20,081	7,644	
	合計(A)	5,948	24,121	23,333	8,744		
	事業費	正規職員	業務量	1.45 人	1.70 人	1.70 人	1.15 人
			人件費	11,173	13,386	13,386	9,169
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.30 人	
	人件費	0	0	0	649		
小計(B)	11,173	13,386	13,386	9,818			
合計(A+B)	17,121	37,507	36,719	18,562			
市民1人当たりのコスト(円)	201	447	437	221	※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	空き店舗等活用件数	市街地における空き店舗が活用された件数	件	目標	5	5	5
				実績	6	10	3
指標化できない成果	—	達成	100%超	100%超	60%	80%	

方向	改善課題	<p>第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画では、令和2年4月以降、3つの基本方針と5つの目標指標を掲げ、各事業に取り組んできましたが、中心市街地では依然として人口減少が続いており、にぎわいは回復していません。計画に掲げた5つの目標指標についても、すべて未達成となりました。今後も引き続き、まちなかの回遊性向上や空き店舗の活用など、まちなかのにぎわいづくりに官民一体となって取り組んでいく必要があります。</p>
	改善案	<p>次年度以降も引き続き中心市街地の活性化に取り組んでいくため、令和7年度からを計画期間とする「第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画」を策定し、内閣総理大臣の認定を受けました。</p> <p>また、特に対策が必要な課題においては、庁内の担当部局で構成する作業部会や、伊賀市中心市街地活性化協議会内でのプロジェクトチームなどを立ち上げ、新規事業の立案や民間活力の導入など、重点的な取り組みを行います。</p>

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁	285
379 -			

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-4 中心市街地活性化	R4 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-05
	基本事業	① 市街地整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	旧上野市庁舎利活用事業	産業振興部中心市街地推進課	評価責任者・連絡先 課長 森口 浩司 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	にぎわい忍者回廊創出PFI事業の特定事業として旧上野市庁舎を改修活用する		
	根拠法令等			
内容	<p>伊賀市の中心市街地では、「中心市街地の活性化に関する法律」や「まち・ひと・しごと創生法」の目的及び基本理念に基づき、コンパクトでにぎわいのあるまちづくり、次世代に誇れるまちづくりの実現を目指し、「第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画」を策定し、まちなか居住の推進や観光・商業の活性化に向けた公民連携の取組を進めました。</p> <p>また、伊賀市の中心市街地は、東京の「上野恩賜公園と文化施設群」や京都の「南禅寺界隈の近代庭園群」などと同様に「伊賀上野城下町の文化的景観」が『日本の20世紀遺産20選』に選出されています。</p> <p>この景観を構成する、坂倉準三による近代建築群や、伊賀上野城下町の歴史的なまちなみの保全、アフターコロナ時代における観光まちづくりの視点を加えつつ、地域に根付く魅力溢れる資源を面として捉え、人と地域が成長し続ける空間を創出するため、上野公園から城下町エリアを結ぶ動線を「にぎわい忍者回廊」と位置付け、公民が一体となって取組を推進しました。</p> <p>にぎわい忍者回廊整備事業は、公民が一体で取り組むPFI(Private Finance Initiative)手法で進め、旧上野市庁舎を改修して図書館を核とする複合施設への利活用、五感をフルに使って楽しむ忍者体験施設の新設などを含め、民間ノウハウを活用した質の高いサービスの提供を目指しました。</p> <p>令和6年度は、旧上野市庁舎改修工事を進めました。また、物価高騰の影響及び改修における追加工事の発生により、事業契約の変更契約を締結しました。</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	71,960円	都市構造再編集中支援事業国交省要望旅費	
	印刷製本費	103,400円	事業PR資材作成	
	委託料	1,366,033,000円	にぎわい忍者回廊PFI業務委託料	
	計	1,366,208,360円		

全体コスト(千円)	項目	R5年度決算		R6年度当初予算		R6年度決算		R7年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費		
事業費	直接事業費	国県支出金	49,600		918,000		675,500		280,532	都市構造再編集中支援事業 ※R7年度からは新たな総合計画の期間になるため、上の「事業期間」と整合しません。	
		地方債	44,640		826,200		616,190		252,400		
		その他	0		0		0		3,268		
		一般財源	10,307		112,248		74,519		55,372		
		合計(A)	104,547		1,856,448		1,366,209		591,572		
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人		1.00 人		1.00 人			1.65 人
			人件費	7,705		7,874		7,874			13,156
		再任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
			人件費	0		0		0			0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
人件費	0		0		0		0				
小計(B)	7,705		7,874		7,874		13,156				
合計(A+B)	112,252		1,864,322		1,374,083		604,728				
市民1人当たりのコスト(円)	1,316		22,179		16,347		7,195				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	庁舎改修事業の進捗率	都市構造再編集中支援事業補助金を活用し庁舎改修をおこなうことから事業計画に基づく進捗を指標とする。	%	目標	—	0.2%	5%	77%
				実績	—	0.2%	5%	72%
指標化できない成果	—	達成	—	100%	100%	93.5%		

方向	民間委託	<p>契約締結時には予測しえない工事増や物価高騰により、改修事業に時間を要しました。進捗に遅れはあったものの、予定どおり令和7年7月に施設がオープン予定です。今後は、図書館、忍者体験施設の開業に合わせて、まちなか周遊促進事業の検討を進める必要があります。</p> <p>また、文化財施設を活用した複合施設であり、非常に注目度が高いことから、オープン前から取材や視察の依頼が多く、対応に多大な時間を要しています。オープン後はさらに多くの取材・視察の依頼がくることが予想されます。</p>
	課題改善案	<p>まちなか周遊促進事業については、引き続き株式会社伊賀市にぎわいパートナーズと協議を重ね、他の事業者を巻き込んだ取り組みの検討を行います。</p> <p>PFI事業は民間主導であるとはいえ、市の役割としてPR等を行っていく必要があります。取材・視察依頼については、株式会社伊賀市にぎわいパートナーズとも連携しながら、可能な限り対応を行います。</p>